第拾貳週	一	二四	オ	三	第二五課 卵、	農夫牛馬勞役家禽飼養產卵、
		二六	ウ	二		
第拾參週	一	二六	オ	三	第一六課 和洋食物、	肉類野菜豆腐味噌醬油料理、
		二八	ウ	三		
第拾四週	一	三八	オ	四	第一六課 和洋食物(承前)	今も昔も料理は女の一つの務めなり、
		二九	ウ	六	第一七課 手料理	
第拾五週	一	二九	ウ	七	第一七課 手料理(承前)	乳母雛女下總富貴榮華雲集、
		三一	ウ	二	第一八課 大藏ぜの	

第二學期

自第拾六週 至第貳拾九週

課目 / 週		讀方	書方
	自至卷	進度	進度及內容
	枚	內容	
	表裏		
	行		
第拾六週	一 オ 一	第拾九課 飯	到來の宇治茶少々ながらさし上げ申し候
	三三 オ 三四	第二〇課 茶	
第拾七週	二 オ 一	第二〇課 茶(承前)	結構なる宇治茶御分け下されあり難く存じ候
	三四 ウ 三五	第二一課 宇治川	
第拾八週	一 ウ 一	第二一課 宇治川(承前)	平等院には源三位賴政の古跡あり、
	三五 オ 三八		

第拾九週	第貳拾週	第貳拾壹週	第貳拾貳週	第貳拾參週
一 一	二 二	二 三	二 二	二 二
三八 三九	一 三	三 五	五 六	七 九
オ ウ	オ オ	オ オ	ウ オ	オ オ
三 四	一 三	四 三	四 終	一 二
第 第	第 第	第 第	第 第	第 第

第二二課　代々の恵、

我等は如何にして君恩に報い奉るべきか、

第一課　仁徳天皇、

代々の天皇の思澤は洪大なり、

第二課　田舎、

風雨時に順ひ五穀よくみのる、

第三課　農業、

住居、都會、田舎、健康、長命、幸福、

第四課　稻、

産出、製造、使用、撰擇、改良、進歩、

第貳拾四週	第貳拾五週	第貳拾六週	第貳拾七週	第貳拾八週
二 二	二	二 二	二 二	二 二
一九 二	一三 二	一三 一四	一五 一六	一六 一八
オ オ	オ オ	オ ウ	オ ウ	ウ ウ
三 二	三 四	五 終	一 六	七 畫
第 第	第 第	第 第	第 第	第 第

第四課　稻（承前）

いつぞや御伺ひ申せし裁縫の師匠は何處に住まはれをり候か御尋ね申し候、

第五課　草綿、

第六課　裁縫、

いつぞや御伺ひ申せし裁縫の師匠は何處に住まはれをり候か御尋ね申し候、

第七課　高價なる衣服、

出發、滯在、往後、旅費、貸錢、雜費、

第八課　詞使ひ、

木綿、絹布、毛織、單衣、浴衣、帶地、

第九課　婦女讀書の要

衣服には詞の遣ひ方に注意せよ、

第貳拾九週	二	一八	ウ	四	第十四課 鶴壽堂の妻、	女子には禮儀作法の心得肝要なり、
	三	二〇	ウ	土		

第三學期　自第參拾週　至第參拾八週　九週間

目 / 課 / 週		讀		進度		方	書	方
		自至	卷	内	容	進度及内容		
第參拾週	二 二	二	二〇	第二一課 孔子、		言語、容貌、顏色、起居、進退、動作、		
第參拾壹週	二 二 二 四	二	二二					
	ウ オ	オ	ウ					
	半 九	八	三					
第參拾貳週	二 二	二	二四	第二二課 孟母（承前）				
	二 七	二七	二五	第二三課 父母の恩				
	オ	オ	オ					
	半	三	半	第二四課 新年		温厚、試實、遠慮、博學、高德、尊敬、		

第參拾貳週	二	二	二四	第二五課 孟母（承前）				
	二	二七	二七	第二六課 新年（承前）				
	オ	オ	オ					
	四	七	三	第二七課 遊戲、				
第參拾參週	二	二	二七	第二八課 遊戲（承前）				
	二	二九	二九	第二九課 梅と鶯、				
	オ	オ	オ					
	四	七	四	第三〇課 新年（承前）				
第參拾四週	二	二	二九	第三一課 梅と鶯（承前）				
	三	三一	三一	第三二課 動物の身體				
	オ	オ	オ					
	八	七	七	第三三課 動物の身體（承前）				
第參拾五週	二	二	三一	第三四課 梅と鶯（承前）				
	三	三三	三三	第三五課 蛙の子は蛙になる、				
	オ	ウ	ウ					
	八	終	終	第三六課 動物の身體				
第參拾六週	二	二	三四	第三七課 動物の身體（承前）				
	三	三六	三六	第三八課 蛙の子は蛙になる、				
	オ	オ	オ					
	一	五	五					

高等科二學年(女子)國語科

高等國語讀本　女子用　卷三、四、

高等國語習字帖　女子用　上篇　卷三、四、

第一學期　自第壹週至第拾五週　五週間ニ百五十時間ノ授業ヲ以テ完了スルモノトス

週	課	讀方	書方	進度及內容
第壹週	自第一課至第三課	讀方	書方	進度及內容
第貳週	第四課	蛙の子は蛙になる、	植物は雨を得て芽を長じ葉を綠にす、	山中樹木なき時は河の水源常に涸る、
第參週	第五課	山林の惠、		
第四週	第六課	雨		
第五週	第七課	五風十雨、		
第六週	第八課	蛙の子は蛙になる、（承前）		
第七週	第九課	雨		
第八週	第一〇課	山林の惠、（承前）		
第九週	第一一課	五風十雨、（承前）		
第拾週	第一二課	植物は雨を得て芽を長じ葉を綠にす、（承前）		
第拾壹週	第一三課	山中樹木なき時は河の水源常に涸る、（承前）		
第拾貳週	第一四課	植物は雨を得て芽を長じ葉を綠にす、（承前）		
第拾參週	第一五課	山中樹木なき時は河の水源常に涸る、（承前）		

第二學期　自第壹週至第拾五週　五週間ニ百五十時間ノ授業ヲ以テ完了スルモノトス

週	課	讀方	書方	進度及內容
第壹週	自第一課至第三課	讀方	書方	進度及內容
第貳週	第四課	公園の話		上野公園博物館九段坂靖國神社、
第參週	第五課	公園の話（承前）		
第四週	第六課	向島、		小金井堤隅田川淺草觀音陽田川吾妻橋三圍牛島
第五週	第七課	公園の話（承前）		
第六週	第八課	櫻の歌		
第七週	第九課	大和心		大和心は朝日にほふ櫻花の如し、
第八週	第一〇課	櫻の歌（承前）		
第九週	第一一課	大和心（承前）		
第拾週	第一二課	櫻の歌（承前）		
第拾壹週	第一三課	大和心（承前）		
第拾貳週	第一四課	櫻の歌（承前）		
第拾參週	第一五課	大和心（承前）		

第四週	第五週	第六週	第七週	第八週
三三	三三	三三	三三	三三
一〇 二二	一二 一四	一四 一七	一七 一九	一九 二二
オオ	オオ	オオ	オオ	オオ
一 七	二 三	四 三	四 五	六 一
第五課 東京、	第六課 太田道灌、	第七課 小式部内侍、	第八課 能因法師の歌(承前)	第九課 旅行の利益、
宮城諸官衙議院學校工業場商店、	東京は昔江戸といひ德川氏代々此に住へり、	小式部内侍は幼より歌の上手なりき、	明日京都へ御旅立の由御餞みのことゝ存じ候、	この品錢別のしるしまでに差上げ申候、

第九週	第拾週	第拾壹週	第拾貳週	第拾參週
三三	三三	三三	三三	三三
二二 二五	二五 二七	二七 二九	三九 三一	三一 三四
オウ	ウオ	オウ	ウウ	オウ
二一	三八	九八	九終	一三
第一一課 水運の便(承前)	第一二課 大坂(承前)	第一三課 商業、	第一四課 日本の貨幣	第一五課 京都(承前)
第一二課 大坂、	第一三課 商業、	第一四課 日本の貨幣、	第一五課 京都、	第一六課 呉服太物、
運賃、低價、送遞、迅速、	問屋仲買小賣店商業繁昌	上田縞長濱縮緬河内木綿奈良晒、	貨幣なかりし頃には物品交易行はれたり、	京都は桓武天皇以後千餘年間の帝都たり、

週	第二學期 自第二十六週 至第二十九週間	第四週	第五週	第六週	第七週	第八週	第九週	第十週
自至	課目	三	三	三	三	三	四	四
卷	讀	三四	三七	四一	四二	四五	一	一
枚	書	ウ	オ	カ	オ	ウ	オ	ウ
表裏	進度及內容	四	八	一	一	一	一	二
行	方	修	一	一	一	七	一	一
	內容	第一六課 呉服太物（承前） 第一七課 衣服の料と色	第一七課 衣服の料と色（承前） 第一八課 博多織	第一八課 博多織（承前） 第一九課 上布八王子絹	第一九課 上布八王子絹（承前） 第二〇課 絹織物	第二〇課 絹織物（承前） 第二一課 絹織物の種類	第二一課 絹織物の種類（承前） 第二二課 絹織物の種類（承前）	第二二課 絹織物の種類（承前） 第二三課 絹織物の種類（承前）
	進度及內容	博多織職場上布八王子絹 稍後縮、	此ころは御せわしきこゝ ゝ存じ候へども此反物鼠 地三處紋に御染め下され 度候、					

週	第二學期 自第二十六週 至第二十九週間	第十一週	第十二週	第十三週	第十四週	第十五週	第十六週	第十七週
自至	課目	四	四	四	四	四	四	四
卷	讀	三	三	三	三	三	三	三
枚	書	四	四	四	四	四	四	四
表裏	進度及內容	三七	四一	四二	四五	四六	四七	四八
行	方	ウ	ウ	オ	ウ	ウ	ウ	ウ
	內容	九	一	二	一	一	一	一
	進度及內容	第一八課 洗濯 第一九課 水の撰擇	第一九課 水の撰擇（承前） 第二〇課 上毛野形名の夫人	第二〇課 上毛野形名の夫人（承前） 第二一課 兵制の大略、	第二一課 兵制の大略、（承前） 第一課 長短相助く	第一課 長短相助く（承前） 第二課 分業の利益、	第二課 分業の利益、（承前） 第三課 商業（未完）	第三課 商業（承前） 第四課 商業（未完）
	方	此ころは御せわしきこと ゝ存じ候へども此の反物 鼠地三處紋に御染下され 度候、		水道鐵管飲料水不潔病物 流行病、		全國皆兵は日本現今の兵 制なり、		海の長所を取り我が短所 を補ふ、

第貳拾壹週	第貳拾貳週	第貳拾參週	第貳拾四週	第貳拾五週
四四	四四	四四	四四	四四
五七	八一〇	一〇二	二一五	一五七
ウ	オ	ウ	ウ	オ
九終	一四	五四	五八	九五
第	第	第	第	第

第三課　病床（承前）
第四課　養生
第四課　養生（承前）
第五課　温泉、
第五課　温泉（承前）
第六課　鹽の話、
第六課　鹽の話（承前）
第七課　食物の調理
第七課　食物の調理（承前）

疾病服藥醫療看護注意介抱平癒、
御前樣には先頃より御病氣のよし御案じ申上候折角御大切に遊ばされ度祈り申候、
御前樣には先頃より御病氣のよし御案じ申上候折角御大切に遊ばされ度祈り申候、
養生運動飲食適宜睡眠沐浴爽快、
温泉鎗根熱海草津鹽原有馬道後、

第三學期　自第參拾週　至第參拾八週　九週間

第貳拾六週	第貳拾七週	第貳拾八週	第貳拾九週
四四	四四	四四	四四
一七一九	二〇二一	二三二四	二四二六
ウ	オ	ウ	オ
六終	一六	七終	一四
第	第	第	第

第八課　室内の裝飾、
第九課　工業と美術、
第一〇課　漆器、
第一一課　箕面、
第一一課　箕面（承前）

鹽は食物の味を調へ又其の腐敗を止む、
太陽の熱は海を暖めて水分を蒸發せしむ、
室内裝飾掛物置物生花料紙硯箱、
漆器、產地能代輪島、津輕小濱會津、

週 ＼ 課目	讀方	書方
自至	進度	進度及內容
卷	枚	
表裏	行	
第參拾週	四 四	四 四
	二九 二九	
	オ オ	
	五 七	
	第一二課 八景、	紅葉高雄通天笑(藤田川手向山、
第參拾壹週	四 四	四 四
	二九 三二	三三 三四
	オ オ	オ オ
	八 一	二 八
	第一三課 近江聖人	第一四課 實驗の學 第一五課 種痘の發明者
	先日近江八景御めぐりされ候よし御慰みに候ひしならんと御うらやましく存じ居候、	
第參拾貳週	四 四	四 四
	三三 三四	
	オ オ	
	二 八	
	第一四課 實驗の學 第一五課 種痘の發明者	
	先日近江八景御めぐりされ候よし御慰みに候ひしならんと御うらやましく存じ居候、	

週 ＼ 課目	讀方	書方
自至	進度	進度及內容
卷	枚	
表裏	行	
第參拾參週	四 四	四 四
	三四 三七	
	オ オ	
	九 四	
	第一五課 種痘の發明者(承前) 第一六課 育兒の心得	
	積るが上に積る雪これぞまことに豐かなる年の貢と知られたる、	
第參拾四週	四 四	
	三七 三九	
	ウ オ	
	五 一	
	第一六課 育兒必得(承前) 第一七課 山內一豐の妻、	
	積るが上に積る雪これぞまことに豐かなる年の貢と知られたる、	
第參拾五週	四 四	
	三九 四二	
	ウ オ	
	二 八	
	第一七課 山內一豐の妻(承前) 第一八課 貯金、	
	書學佛書漢籍洋學勉勵忍耐研究、	
第參拾六週	四 四	
	四二 四四	
	オ ウ	
	九 六	
	第一八課 貯金(承前) 第一九課 鈴木今右衛門の一家、	
	郵便局銀行貯金通帳元金利子增殖、	
第參拾七週	四 四	
	四四 四七	
	ウ オ	
	七 六	
	第一九課 鈴木今右衛門の一家(承前) 第二〇課 慈善	
	女子は優しさを勝れたる德と	

高等科三學年(女子)國語科

一 高等國語讀本 女子用 中篇 卷一、二、
一 高等國語習字帖 女子用 中篇 卷一、二、

第一學期 自第壹週至第拾五週 拾五週間

課目 / 週	第壹週	第貳週	第參週	第四週	第五週
讀方	一	一	一	一	一
自卷至	一四	一六	一九	二一	二三
枚	オ	ウ	オ	ウ	オ
進度及內容	一	二	七	九	六
表裏	第一課 春、	第二課 養蠶、	第三課 養蠶(承前)	第四課 雄尊天皇、	第五課 女子の務め
行	春は木の芽若葉一雨ごとに生長して時しらぬ松さへ一しほの色を添ふ、	養蠶の業は高貴の人々もこれを習ひ給へり、	第六課 支那の地理	第七課 支那の地理(承前)	第八課 朝鮮の地理
內容	政府內閣官廳權利保護義務負擔、	軍艦富士八島吉野浪速橋立松島扶桑、	城郭宮殿高壁樓門屬國獨立條約交誼、	第九課 朝鮮の地理(承前)	第十課 日清交戰の始末、
方	讀方 書方				

第拾六週	第拾七週	第拾八週
四	四七	四
四九	オ	七
終		

第二課 政府、

政府內閣官廳權利保護義務負擔、

第六週	第七週	第八週	第九週	第拾週
一 一	一 一	一 一	一 一	一 一
一五 一七	一一 一九	一九 二三	二三 二五	二五 二八
オ ウ	ウ ウ	ウ オ	オ オ	オ ウ
四 二	三 七	八 六	七 四	五 六
第八課 日清交戰の始末（承前）				
第九課 劉公島及日島の戰、		臺灣澎湖基隆淡水安平打狗新竹宜蘭、		
第九課 劉公島及日島の戰（承前）		晴雨計水銀高低氣象變化測候所警報、		
第一〇課 台灣及澎湖列島				
第一〇課 台灣及澎湖列島（承前）		大海原の景色を見れば心自ら壯快なり、		
第一一課 晴雨計の話、			國會議事堂議官省寺院店舖工場住家、	
第一一課 晴雨計の話（承前）			私事琴の稽古相はじめ候しもふつゝかにて何分はかどり申さず誠にかひのう存じ居候、	
第一二課 世界の一周其一				
第一二課 世界の一周其一（承前）				
第一三課 世界一周其二				
第一三課 世界一周其二				

第拾壹週	第拾貳週	第拾參週
一 一	一 一	一 一
二八 三一	三一 三四	三四 三六
オ オ	オ オ	オ ウ
七一	二 七	八 七
第一四課 遠		
第一四課 遠（承前）		
第一五課 牽牛花		
第一五課 牽牛花（承前）		
第一六課 音響、		
第一六課 音響、		

私事琴の稽古相はじめ候しもふつゝかにて何分はかどり申さず誠にかひのう存じ居候、

うもし樣には琴曲の御たしなみあらせられ候由をり〳〵御さらひ下さるさしくや伺ひ上まゐらせ候、

そもし樣には琴曲の御たしなみあらせられ候由をり〳〵御さらひ下さるさしくや伺ひ上まゐらせ候、

週	課目	讀方	書方	内容進度及内容
第拾四週	一	自卷頭至卷末	一	第一課　樂園、
	三六			
	三九			
第拾五週	一		一	
	三九			
	四二			
第拾六週	一		一	
	四五	枚		
	四五			
	オ	表裏	ウ	
	五	行	五	
	四			
第拾七週	二		二	
	四五			
	四六			
	オ		オ	
	五		五	
	四			
第拾八週	一		一	
	四八			
	四九			
	オ		ウ	
	五		終	
	終			
第拾九週	二		二	
	一		四	
	四			
	オ		オ	
	一		二	
	二			
第貳拾週	二		二	
	四		三	
	三			
第貳拾壹週	二		二	
	八			
	一〇			
	オ		オ	
	四		終	
	終			

第一學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第一七課　樂園、	蓮は花辨薄紅色にして香氣勝れたり、
第一八課　八橋撿校、	牽牛花は朝早く咲きて日中にしぼむ、
第一九課　住居	樂器琴三味線太鼓尺八笛胡弓琵琶笙、
第二〇課　住居の選擇、	

第二〇課　住居の選擇（承前）	唱歌曲譜音節調和優美高尚巧妙奥義、
第二一課　家風、	親子兄弟孝順友愛、秩序規律風儀習慣、
第一課　秋、	風儀良き家庭に入るときは心中自ら快し、
第二課　菊	秣尾花葛撫子藤袴女郎花桔梗菊刈萱、
第三課　文の書き方	
第四課　郵便電信	秋は淋しけれど春にも勝りて興深し、
第五課　訪問	

第貳拾週	第貳拾五週	第貳拾四週	第貳拾參週	第貳拾貳週
二 二	二 二	二 二	二 二	二 二
二三 二四	一八 一〇	一一 一五	一一 一三	一〇 一三
オ オ	オ ウ	ウ オ	オ ウ	ウ オ
七 四	五 終	四 四	五 三	一 四
第第	第	第	第第	第第

第六課　音物（承前）
第七課　須磨（承前）
第八課　直實敦盛を擊つ、（承前）
第九課　世界一周其三

文を書くに聞きなれぬ詞を用ふべからず、
吉事訪問年頭婚姻出產昇進開業開店、
先頃より裁縫のひまに書きつゝり候文十餘篇御覽に入れ候間御添削なし下され度願ひ上候、
先頃より裁縫のひまに書きつゝり候文十餘篇御覽に入れ候間御添削なし下され度願ひ上候、
贈呈品酒鰹節鶏卵鳥魚菓子器具反物、

課目 ＼ 週	第貳拾七週	第貳拾八週	第貳拾九週
讀方	二 二	二 二	二 二
進度	二三 二五	二六 二八	二八 三一
內容	オ ウ	ウ オ	オ ウ
自至卷	八 終	一 七	八 五
枚	第	第	第
書	第九課　世界一周其二（承前）	第一〇課　世界一周其四（承前）	第一一課　春日局、
裏	空氣清潔氣候温和土地閑靜風光明媚、	見渡せばなかなかひれゝ見れば須磨の秋、	一谷の戰に熊谷直實平敦盛をうち取りぬ、
行	進度及內容	進度及內容	進度及內容

第三學期　自第參拾週　至第參拾八週　九週間

第參拾週	五一	五二	末	第一二課 千代姫、
	三三	三三	オ	第一三課 瀧子
第參拾壹週	二	三三	末	第一三課 瀧子（承前）
	二	三五	ウ オ	第一四課 繼母の恩
	九	四	第一四課 繼母の恩（承前）	
	三	七	ウ	第一五課 繼母の恩
第參拾貳週	三五	四	ウ	第一五課 男女の衣服、
	二七	三	ウ	第一五課 男女の衣服、
	四	八	第一六課 生絲、	
	四	七	第一六課 生絲、	
第參拾參週	三	三	ウ	第一七課 男女の衣服（承前）
	二	三九	ウ	第一七課 男女の衣服（承前）
	二	三	第一八課 生絲（承前）	
	二	二	第一八課 生絲（承前）	
第參拾四週	二	二	第一九課 織物の種類、	
	二	二	第一九課 織物の種類、	

市街華麗建築宏大交通頻繁		
繁船舶輻輳、		
春日局は儉約慈善忠義を以て顯はる、	夏羽紗絽紗透綾縮緬地仙臺平嘉平治、	御息女樣には此たび御滯りなう御樣方へ御嫁入あそばし候よし目出度存じまゐらせ候、
	御息女樣には此たび御滯りなう御樣方へ御嫁入あそばし候よし目出度存じまゐらせ候、	

第參拾五週	二	二	四	第一八課 臥雲辰致の紡綿器（承前）
	四二	四五	オ	
	四	七	第一八課 臥雲辰致の紡綿器（承前）	
第參拾六週	二	六	第一九課 婢僕を使ふ心得	
	四五	四七	ウ	
	一	一	第一九課 婢僕を使ふ心得	
第參拾七週	二	七	ウ	第二〇課 客を招く時の心得
	二	五〇	ウ	第二一課 寄木村
	二	一	第二一課 寄木村	
第參拾八週	二	二	第二二課 租稅、	
	五〇	五二	ウ	
	二	終	第二二課 租稅、	

御祝のしるしまでに經節一連進じあげ候、		
僕婢を使ふには慈悲の心なかるべからず、	座敷飾襖屏風燭臺火鉢煙草盆傘履物、	證書手形印紙登錄地租戶數割雜種稅、

高等科四學年（女子）國語科 讀方 書方

一 高等國語讀本 女子用 下篇 卷一、二、
一 高等國語習字帖 女子用 下篇 卷一、二、

第壹週	課目 / 週	讀方	書方
一	自至	第一學期 自第壹週 至第拾五週間	抬五週間
一	枚	進度	進度
一	表裏	內容	內容
一	終	第一課 忠孝、	君父の恩惠は海より深く山より高し、
一	行	第二課 吉野、	

第壹週	第貳週	第參週	第四週	第五週	第六週
一	一	一	一	一	一
四	七	七	九	二	一五
オ	オ	オ	オ	オ	ウ
一三	六	四	七	八	七
第一課 吉野（承前）	第二課 吉野（承前）	第三課 補正行の母	第四課 讀書の樂	第五課 延喜天曆の文人、	第六課 紫式部淑情少納言
花より明くるみ吉野の春の曙見渡せば唐土人も高麗人も大和心に成りぬべし、	花より明くるみ吉野の春の曙見渡せば唐土人も高麗人も大和心に成りぬべし、				
天下泰平萬民和樂風俗優美文物隆盛、	智慧才覺柔順鏃遲志操堅固品行端正、	仁の道は此の上も無き大なる德なり、			

第七週	第八週	第九週	第拾週	第拾壹週
一	一	一	一	一
一七	二〇	二三	二七	三〇
ウ	ウ	ウ	オ	オ
九	七	八	三	四
第	第	第	第	第

第九課　流行（承前）
第一〇課　結髪、

第一〇課　結髪、
第一一課　夏の衆、

第一二課　日光、

第一二課　日光（承前）

第一三課　鎌倉（承前）

第拾貳週	第拾參週	第拾四週	第拾五週
一	一	一	一
三三	三六	三九	四二
オ	オ	オ	ウ
三	四	三	六
第	第	第	第

第一四課　松下禪尼、
第一五課　物の順序、

第一六課　金錢の出納、
第一七課　不時の用意、

第一七課　不時の用意（承前）
第一八課　地震及び火山、

第一九課　活動寫眞、

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

週 / 課目	讀方	書方	進度及內容
自至	進度		內容
第拾六週 一 一	第二〇課　工業の起因、	舞踏演劇幻燈能樂相撲馬活動寫眞、	第二〇課　工業の起因、 第二一課　工業の功勞、
第拾七週 一 一	第二一課　工業の功勞（承前） 第二二課　グレース女	物價は需用供給の理によりて定まる、	第二一課　工業の功勞（承前） 第二二課　グレース女
第拾八週 一 一	第二三課　少年と女（承前） 第二三課　（缺）	人は生れながら物を愛せる心を具へたり、	第二三課　少年と女（承前） 第二三課　（缺）
第拾九週 一 一	第二三課　人格の話（承前）	己の欲せざることは之を人に施すなかれ、	第二三課　人格の話（承前）
第貳拾週 二 二	第一課　愛國、	愛國の心の多少は貴に一國の盛衰にかゝはる、	第一課　愛國、
第貳拾壹週 二 二	第二課　古學者、	皇統連綿天壤無窮實國體長威名宣揚、	第二課　古學者、
第貳拾貳週 二 二	第三課　和歌四首、	柿本人麿山邊赤人加茂眞淵本居宣長、	第三課　和歌四首、
第貳拾參週 二 二	第四課　國語國文の變遷（承前） 第五課　書工傳を書く、	一藝に秀でんとせは寢食を忘る〜事あり、	第四課　國語國文の變遷（承前） 第五課　書工傳を書く、

第貳拾四週	二	二	一三	オ	第五課　書工鶴を書く（承前）
			一六	オ	第六課　池野大雅、
第貳拾五週	二	二	一六	ウ	第七課　茶の湯、
			二〇	オ	第八課　香（一）
第貳拾六週	二	二	二三	オ	第八課　香（一）（承前）
			二〇	ウ	第九課　香（二）
第貳拾七週	二	二	二三	ウ	第九課　香（二）（承前）
			二六	ウ	第一〇課　家庭の教育、
第貳拾八週	二	二	二六	ウ	第一〇課　英米人家庭の風儀（承前）
			二九	ウ	第一一課　英米人家庭の風儀、
第貳拾九週	二	二	二九	ウ	第一二課　赤十字社（一）（承前）
			三三	オ	
第參拾週	二	二	三三	オ	第一三課　赤十字社（二）
			三六	オ	
第參拾壹週	二	二	三六	オ	第一四課　月下野營、
			三九	オ	

第貳拾四週	一	終	第五課　書工鶴を書く（承前） 第六課　池野大雅、
第貳拾五週	一	一八	第七課　茶の湯、 第八課　香（一）
第貳拾六週	二	二一	第八課　香（一）（承前） 第九課　香（二）
第貳拾七週	三	八	第九課　香（二）（承前） 第一〇課　家庭の教育、
第貳拾八週	九	七	第一一課　英米人家庭の風儀、 第一二課　赤十字社（一）（承前）

池野秋平は大雅堂と號し書書をもて名あり、

茶道流儀有樂金森石州遠州卿裏千家、

明日は例年の通り盛開き致し候まゝ薄茶一ぷく差上げたくおは久々よてゆるゝ御はなし承り度、

明日は例年の通り盛開き致し候まゝ薄茶一ぷく差上たくなほ久々よてゆるゝ御はなし承り度、

と存じ候間せひ御越しの程御待ち申候かしこ、

文明社者にありては生存競爭甚だはげし、

赤十字社野戰病院衛生隊救護團治療、

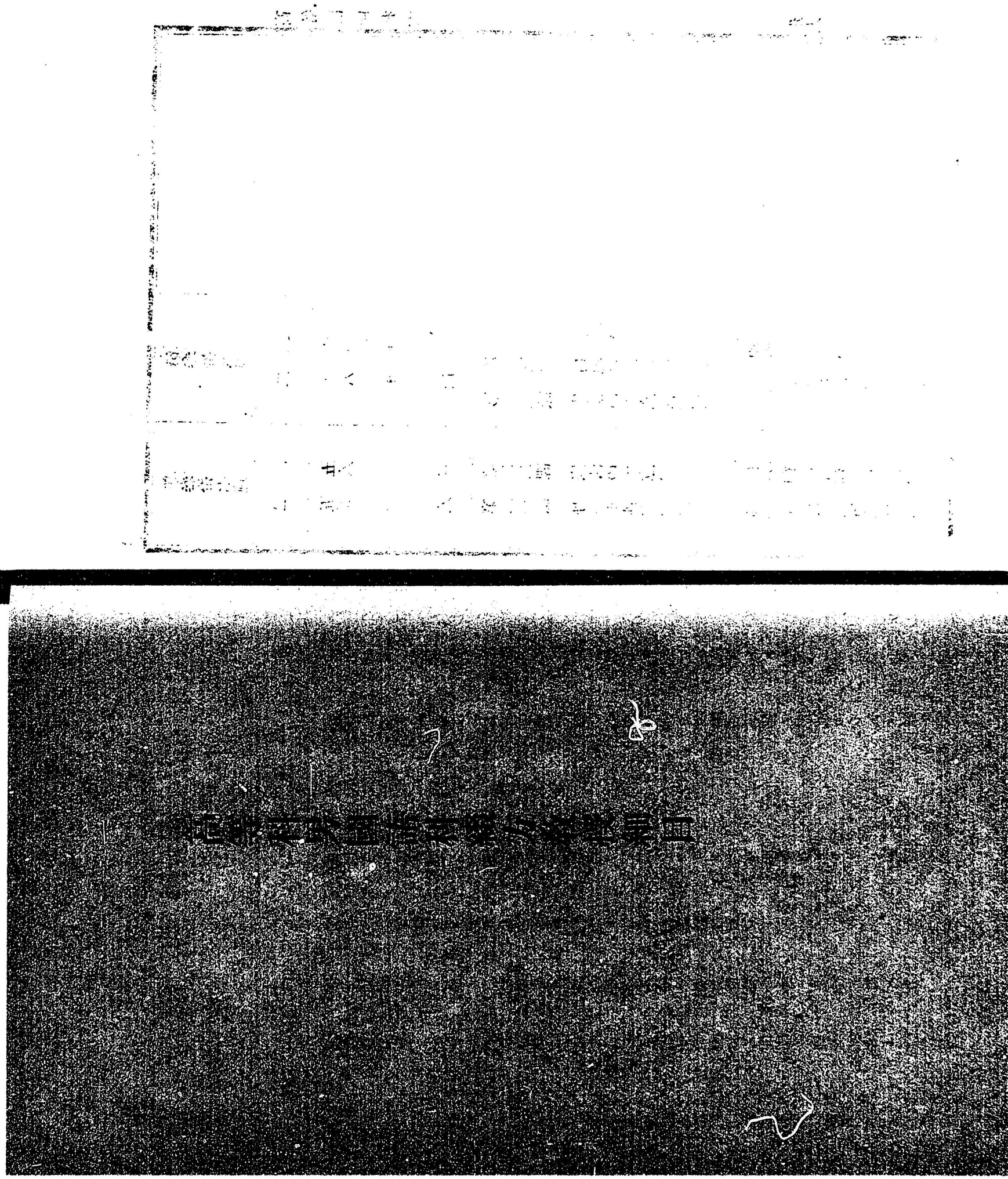
ふりさけ見れば天の原月は故鄕もかはらざりけり、

第三學期　自第參拾一週　至第參拾八週　九週間

課目 / 週	讀方	進度	自卷	至卷	枚	表裏	行	書方	進度及內容
第貳拾九週	二	二						二	二
	二	二九						二	二九
	二	三三						二	三三
	二	八						二	八
	二	二	第一二課　赤十字社（一）（承前）					二	二
第參拾週	二	二						二	二
	二	三三						二	三三
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
第參拾壹週	二	二	第一三課　赤十字社（二）					二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四	第一四課　月下野營、					二	四
第參拾貳週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾參週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾四週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾五週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾六週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾七週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二
第參拾八週	二	二						二	二
	二	三六						二	三六
	二	三九						二	三九
	二	四二						二	四二

第參拾貳週	第參拾參週	第參拾四週	第參拾五週	第參拾六週
三 三九 オ	二 二	二 二	二 二	二 二
四二 ウ	四二 ウ	四五 ウ	四八 ウ	五二 ウ
五 六	七 終	一 一	二 二	三 七
第二五課 四季の月	第一七課 望遠鏡の發明	第一八課 石灰岩（承前）	第一九課 土の話（承前）	第二〇課 母子の愛情（承前）
第二六課 月の世界	第一八課 石灰岩、	第一九課 土の話、	第二〇課 母子の愛情、	第二一課 母の小袖（承前）
太陽地球周圍同轉、	天文學の開けたるは望遠鏡の發明による、	岩石溶解流水運搬砂礫泥	花は盛りに月は隈なきをのみ見るものかは、	美術展覽會へ御出なされ候由出來ハえ如何に候か、
軌道直徑振輪傾斜、		土河口推積、		

第參拾七週	第參拾八週
二 二	二 二
五五 五八	五八 六〇
オ オ	オ オ
八 三	四 終
第二一課 母の小袖（承前）	第二二課 憲法の大意（承前）
第二二課 憲法の大意、	第二三課 內地雜居に關する勅諭、
御許樣には斯道の御巧者ゆゑ御高評伺ひ度候、	條約改正內地雜居寓邦和親圖運隆昌、



高等科一二學年男子國語科綴方

（奇數年）

第一學期　自第壹週　拾五週間
至第拾壹週　拾五週間

第壹週　醫師に送る文。　退學せし友人に送る文。
第貳週　標。　日本男子。
第三週　散歩ぶ友を誘ふ文。　全返事。
第四週　春の樂。　甲府市。
第五週　運動會に見物を勸むる文。　全返事。
第六週　京都の記。　中江藤樹。
第七週　親戚の祖父ぶ己の圖書を送る文。　土産物を送られし禮狀。
第八週　源頼朝。　日曜日。
第九週　傷者を慰むる文。　頼まれし事の結果を報ずる文。
第拾週　大阪府。　我家。

高等科一二學年男子國語科綴方

（奇數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　畫師に送る文。　退學せし友人に送る文。

第貳週　櫻。　日本男子。

第三週　散歩ふ友を誘ふ文。　仝返事。

第四週　春の樂。　甲府市。

第五週　運動會に見物を勸むる文。　帝國議會。

第六週　京都の記。　中江藤樹。

第七週　親戚の祖父ふ己の圖書を送る文。　仝返事。

第八週　源頼朝。　土産物を送られし禮狀。

第九週　日曜日。

第拾週　傳言を賴む文。　賴まれし事の結果を報する文。

第拾一週　大坂府。　我家。

第拾壹週　暑中見舞の文。　仝送事。
第拾二週　良生徒。　商人。
第拾三週　書物の代價を問合する文。　仝返事。
第拾四週　楠氏の墳。　書物。
第拾五週　墨具借用の文。　仝返事。

第三學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　暑中休み中面白かりし事。　夜見世。
第拾七週　書中の不審を尋ねる文。　仝返事。
第拾八週　新井白石。　虫の音。
第拾九週　祭禮に友を招く文。　仝返事。
第貳拾週　秋の興。　月夜散歩の記。
第貳拾壹週　不參を斷る文。　約束を斷る文。
第貳拾貳週　古城に遊びし記。　天長節。
第貳拾三週　雜誌注文の文。　仕裁物注文の文。
第貳拾四週　小笠原島。　武田信玄。
第貳拾五週　注文品催促の文。　仝返事。
第貳拾六週　赤間ヶ關。　兒童の來歷。
第貳拾七週　寒中見舞の文。　仝返事。
第貳拾八週　歲暮の思ひ。　父母。
第貳拾九週　年賀狀。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　正月元日。　初買の記。
第三拾壹週　出産を祝ふ文。　開店を祝ふ文。
第三拾貳週　雪合戰の記。　雪。
第三拾三週　友人に勉強を勸むる文。　夜學を催す文。
第三拾四週　水晶。　蛙。

第三拾五週　卒業せし友に送る文。　文退學後在校中の友人に送る文。
第三拾六週　學校の一年。　吾が目的。
第三拾七週　昇級を報ずる文。　仝返事。
第三拾八週　欠席届。　受取証。

高等科一二學年男子國語科綴方

（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　中學へ入學せし人へ送る文。　書師へ送る文。
第貳週　少年。　草木の生長。
第參週　散歩せん友に誘ふ文。　仝返事。
第四週　大日本。　我町。
第五週　出産を報ずる文。　仝返事。

第六週　我國の氣候。　和氣の清麿。
第七週　他郷にある兄よりの作文を送る文。　土産を送る文。
第八週　神武天皇。　來日曜日。
第九週　友人に書物の購求を頼む文。　仝返事。
第拾週　東京府。　讃。
第拾壹週　暑中親戚の老人の許へ送る文。　仝返事。
第拾貳週　附屬小學校。　死亡見舞の文。
第拾參週　友人の久しく欠席せるを問合する文。　仝返事。
第拾四週　鰹。　暑中の心得。
第拾五週　寫眞帖借用の文。　仝返事。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　夏の菓。　魚釣。
第拾七週　寫眞帖を返す文。　寫眞帖中の西郷南州の事よつき問れし返事。

第拾八週　徳川光圀。　軍　人。
第拾九週　祭禮に親戚の友人を招く文。　仝禮狀。
第貳拾週　秋の野山。　勉　強。
第貳拾壹週　遲刻を斷る文。　招待せられしを斷る文。
第貳拾貳週　讀書の樂。　仁徳天皇。
第貳拾三週　商品注文の文。　仝　返事。
第貳拾四週　日　光。　運動會。
第貳拾五週　注文品催促の文。　約束せし事を促す文。
第貳拾六週　米。　飲　食。
第貳拾七週　寒中見舞の文。　仝　返事。
第貳拾八週　歲暮の感。　光　陰。
第貳拾九週　年賀狀。　仝　返事。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　今年の心掛。　年首回禮。
第三拾壹週　親戚の人の兵營にある人に兵營の樣子を聞く文。　歸鄉せし兵士に送る文。
第三拾貳週　冬の景。　雪の朝。
第三拾三週　友人に勉強を勸むる文。　夜學を催せる文。
第三拾四週　紀元節。　金。
第三拾五週　卒業を賀する文。　試驗不合格の人を慰むる文。
第三拾六週　父　母。　吾が目的。
第三拾七週　昇校を報ずる文。　昇校を祝されし返事。
第三拾八週　捨物屆。　送り狀。

第一學期　文例

櫻

櫻わ、春の半頃、薄赤き、花を開く、山櫻、八重櫻、彼岸櫻等なども、あり、何れも、美しくして、目を樂しましむ、殊に、この花わ、外國にも、類少なきゆえ、我國人の、誇るところなり、

愛岩山の櫻、おの頃さきはじめた、そーであります
ますが、貴兄にも、さしたる、御用もおくて、午前八時までに、某君宅え、御集り下されたく候、

第二學期　文例

天長節

天長節は、我國三大節の一にして、天皇陛下の、生れたまひし、よき日なり、我等の今日、太平の樂を享くるは、皆陛下の御恩澤に、よるおとなれば、此の日には、學校に行きて、拜賀式に列し、謹んで、御高德を、祝ひ奉るべきなり、

書中の不審を尋ねる文

私事、去る、何日、病氣にて欠席したれど、當日學校にて、御教示下されたく、失禮なれど、手紙にて、御尋ね申上げ候、

第二學期　文例

雪

空は、一面にかき曇り、風は、いよ〳〵つめたし、山も、野も山も一面に、目も覺むるばかりの、銀世界にあれり、高き松は、重げに枝をたれ、笹の雪は、きら〳〵と、すべり、犬は、梅花の跡を殘して、狂ふさまなど、いと面白し、

昇級を報する文

拜啓、追々暖かになりました、御兩親はじめ、皆々樣、御さげんよく、御暮し、なされ候か、私事、無事にくらし居り候ゆえ、御安心下されたく候、私は此たびの、學年には、幸よして、滯りなく、昇級いたし、今日證書を、授かり候ゆえ、御喜び下されたく、先は取り敢えず、御知らせ申上候以上、

高等科二四學年男子國語科綴方

（奇數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週

第壹週　卒業を祝する文。
第貳週　生徒の本分。　國体。
第三週　郊外散歩に友人を誘ふ文。　右返事。
第四週　徳川家康。　日光。
第五週　醫師の來診を乞ふ文。
第六週　菅原道眞。　父の病氣を遠方の兄に報する文。
第七週　死去を報する文。　悔みの文。
第八週　郊外散歩の記。　日曜日の日記。
第九週　人を招く文。　右返事。（禮狀）
第拾週　我國の水産物。　黒潮川。
第拾壹週　一書籍を注文する文。　注文品を催促する文。
第拾貳週　佐藤信淵。
第拾三週　暑中見舞の文。　右返事。
第拾四週　夕すゞみ。　蚊の發音。

第拾五週　湯治に人を誘ふ文。　右返事。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　歸宅を報する文。　土産物を贈る文。
第拾七週　音樂。　音樂會の摸樣。
第拾八週　土産物を贈られし返禮。　來遊を乞ふ文。
第拾九週　松平樂翁の公益。　老梯。
第貳拾週　招待を受けし禮狀。　忘物を届くる文。
第貳拾壹週　食物。　食物の腐敗を防ぐ方法。
第貳拾貳週　月見會と催す文。　右返事。
第貳拾三週　電信局の縱覽を願ふ文。　電信局縱覽に人を誘ふ文。
第貳拾四週　電氣の効用。　電信機械の構造。
第貳拾五週　林子平の富國策。　仝著書父兄訓。
第貳拾六週　入營兵士に贈る文。　海軍兵學校へ入學する友人に贈る文。

第貳拾七週　高田嘉兵衛の剛毅。　金信義。
第貳拾八週　野球競爭會を催す文。　野球會。
第貳拾九週　歲末。　年賀狀。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　寒中見舞の文。　右返事。
第三拾壹週　寒夜讀書をしたる記。　雪見。
第三拾貳週　梅花を贈る文。　右返事。
第三拾三週　消化器。　衛生。
第三拾四週　養蠶教師を聘する文。　養生。
第三拾五週　山田長政。　國民の務。　杉苗周旋をたのむ文。
第三拾六週　雪合戰を催す文。　右返事。
第三拾七週　新羅三郎義光。　馬關條約。
第三拾八週　卒業を謝師に知らす文。

高等科三四學年男子國語科綴方

（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　上級生徒の心得。
第二週　入學を報ずる文。　右返事。
第三週　郊外散歩の記。　上古の服裝。
第四週　擊劍の稽古を友人にすゝむる文。　右返事。
第五週　文字の起源。　文字の必要。
第六週　運動會の期日を問合する文。　右返事。
第七週　楠正成公の參內。　淺川の戰。
第八週　運動會の模樣を報する文。　轉校を報する文。
第九週　新聞。　裝持の事を記す。
第拾週　屆書の差出方を依賴する文。　義捐金送達を依賴する文。

第拾壹週　木内宗五郎の義俠。

第拾貳週　雜誌を交換して見むことを申送る文。　右返事。

第拾三週　蒲生君平の勤學及立志。　仝功蹟。

第拾四週　海水浴に友人を誘ふ文。　右返事。

第拾五週　パスツール。　傳染病の豫防法。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　暑中休暇中の一日。　フランクリンの電氣發明。

第拾七週　時候伺ひの文。　右返事。

第拾八週　露西亞帝國。　露西亞帝國と我國との關係。

第拾九週　注文の文。　右返事。

第貳拾週　墨の製法。　仝効用。

第貳拾壹週　天災見舞の文。　右返事。

第貳拾貳週　病氣全快を報ずる文。

第貳拾三週　入院患者見舞の文。

第貳拾四週　親の恩。　師の恩。

第貳拾五週　寫眞に添へて贈る文。　右返事。

第貳拾六週　江川坦庵の情誼。　高島秋帆の愛國。

第貳拾七週　歲末訪問の文。　右返事。

第貳拾八週　我身の來歷。　今後の希望。

第貳拾九週　年賀狀。　右返事。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　冬期休業中の遊び。　友人を訪問したることを記す。

第三拾壹週　寒中見舞の文。　右返事。

第三拾貳週　雪。　雪中遠足の記。

第三拾三週　展覽會へ出品をすゝむる文。　右返事。（出品方依頼）
第三拾四週　火山の成生。　地震。
第三拾五週　展覽會縱覽に勝ふ文。　右返事。（同道を斷る）。
第三拾六週　元祿時代の武士風。　西南の役の起り。
第三拾七週　展覽會の摸樣を知らする文。　卒業後友人に送る文。
第三拾八週　西郷南州。　一學年間の重なる記事。

第二學期　文の例

養狩の事を記す

今日は、鎌田川は、筌の名所なることを聞き、一度び、養狩を試みんと欲して、未だ果さゞりき、某月某日、親友數名と、紗嚢を携へ、日の暮るゝを待ちて、鎌田川に到る、川は緩く流れて、又大ならず、一小橋あり、橋線により、四方を眺望するに、筌火三四、明にして又滅す、漸くにして、其數をさし縱橫飛散して、其數幾千なるを知らず、各竹枝を揮ひて、それを撲ち、撈ふる所の、養中に投ず、時に養は電氣燈を照し、聚くかの如し、乍ちて共に、くに、軍歌を唱へて、歸路につけり

郊外散歩せん友人を誘ふ文

昨今の好時節にあたり、明日の休暇を、空しく過すも、をしきことゝ存じ、友人二三名と、相談し、東部、差出の磯邊へ、散歩を企て候、路程は、往復數里を超ゆれど、徒歩にて試みたし、出發は、午前七時、集合場所は、腰掛當の茶事と定め申候、されば貴君にも、御同行、如何に候や、御返事、下されたく候、

第二學期　文の例

師の恩

凡そ人たるもの、この世に生れて、善き教を、受くることなければ、禽獸と全じ、小兒の初めて、學校に入るに當りては、東西を知らず、黒白を別たず、まして、尊き人の道をや、されど、數年間、師の教をうくるときは、事理を辨じ、人道實踐の方法を、心得、人として、恥ちざるに至ることを得、されば、この高恩は、山よりも高く、海よりも深し、といふべし、故に、成長の後も、この恩義は、片時も、忘るべからざるなり、

謝狀　（寫眞に添へて贈る文の例）

寒啓、御別れの後すでに、滿二年となり候、東京は如何學者の多き所なれば定めし御勉學の効、著し

き御事と察せられ、存じ候、私事も、身の丈のみは、成長いたしましも、田舎住居の哀しさ、何の得る所もなく、汗顔の至りに候、その寫眞は、小生近時の壯健を、御示し申さんがため、一葉御贈り申し候、尚貴兄も、近頃の御撮影の、ものおらバ、頂戴致し、日夜拝顔の積りにて、平生の思を慰むべく、候以上、

第三學期　文例

鎌倉時代武士の氣風

頼朝、天下の實權を握りしより、其將士を養ふに、儉素を旨とし、氣節を貴び、恩義を重じて、生命を輕ぜしめ、苟も、廉恥を破り、名節を失ふが、如きことあれバ、士道に背くものとして、これを擯斥したり、これにより、武士にして、若し過失あるときは、處刑を待たずして、自殺すること、中古の常習となれり、この、高潔なる氣風は、世界固多しといへども、我國人の特有する、美風にして、後世の大に模倣すべきものなり、その氣風より起りしなるべし、

北條の政治　卒業は、醫師に知らすべき文

野啓先生には御健かに、御起居なさるるとの事、喜ばしき事に候、本校に奉職中は、一方ならぬ、御教

訓を蒙り、御高恩のほど、筆紙に盡し難く候、御蔭により、先月末滞りなく、高等科卒業いたし候、この寫眞は、卒業生一同記念として、寫し取りしものなれば、一葉御贈り申し候、

小生も、身体益々強壯にて、陽氣の障りもなく、日夜勉强いたし、本月募集の中學校入學試驗に、應ずる考へに候、

先は卒業の御報導まで、申し上げ候以上、

高等科一二學年女子國語科綴方

（毒致年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　入學を知らする文。　仝返事。

第貳週　學問スルモノノ心得。　春。

第三週　郊外散歩の得物を贈る文。　仝上謝禮の文。

第四週　郊外散歩ノ記。　極。

第五週　誕生日に人を招く文。　今招れたる後禮の文。

第六週　兒童ノ來歷談。　愛宕山。

第七週　遺れたるもの、主を問ひ合する文。　遺れ置きたるものを届くる文。

第八週　稲生春子。　日曜日ノ日記。

第九週　螢狩りに誘引の文。　仝返事。

高等科一二學年女子國語科綴方

（奇數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週

第拾六週

第壹週　入學を知らする文。　仝返事。

第貳週　學問スルモノノ心得。　春。

第三週　郊外散歩の得物を贈る文。　仝上謝禮の文。

第四週　郊外散歩ノ記。　柳。

第五週　誕生日に人を招く文。　仝招れたる後禮の文。

第六週　兒童ノ來歷談。　愛宕山。

第七週　遺れたるもの、主を問ひ合する文。　遺れ置きたるものを屆くる文。

第八週　稻生春子。　日曜日ノ日記。

第九週　螢狩りに誘引の文。　仝返事。

第拾週　牛。　馬。

第拾壹週　約束を斷る文。　缺席届の差し出し方を勘むる文。

第拾貳週　牽牛花。　湊川神社。

第拾三週　筆記帳を借りに遣す文。　筆記帳を返す文。

第拾四週　京都。　楠正成。

第拾五週　朝の散歩を勸むる文。　仝返事。

第一學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　休暇中ノ樂。　飯。

第拾七週　師の病氣に付きて問ひ合せの文。　入院患者見舞の文。

第拾八週　茶。　宇治川。

第拾九週　病氣全快を報ずる文。　仝返事。

第貳拾週　養生。　看病ノ心得。

第貳拾壹週　死去を報ずる文。　悔み狀。

第貳拾貳週　蜻蛉。　田舍ノ景。

第貳拾三週　命日に人を招く文。　借りたる提灯に添えて招かれたる禮の文。

第貳拾四週　漬物。　洗濯。

第貳拾五週　呉服物を注文する文。　染物を頼む文。

第貳拾六週　食物。　裁縫。

第貳拾七週　染物を催促する文。　自ら作りたる衣服に添えて兄に送る文。

第貳拾八週　詞使ひ。　鶴台ノ妻。

第貳拾九週　年賀狀。　仝返事。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　拾九週間

第三拾週　甲府城。　琵琶湖。

第三拾壹週　塞中見舞の文。　仝返事。

第三拾貳週　藤樹先生ノ孝行。　孟母ノ教。

第三拾三週　生花の稽古を頼む文。　梅の枝を貰ひに遣す文。

第三拾四週　梅。　鶯。

第三拾五週　自ら生けたる梅に添えて送る文。　全返事。

第三拾六週　氷。　石炭。

第三拾七週　修業を畫師に報する文。　歸郷の期日を問ひ合はする文。

第三拾八週　慈善。　女子ノ心得。

高等科一二學年女子國語科綴方（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週間　拾五週間

第壹週　轉校を知らする文。　全返事。

第貳週　家ヲ興ス心得。　櫻。

第三週　花見に友人を誘ふ文。　全返事。

第四週　郊外散歩ノ記。　蒲公英。

第五週　編物に添へて贈る文。　編物を贈られたる返事。

第六週　學校ノ沿革。　地圖。

第七週　旅立を知らする文。　買物を依頼する文。

第八週　日本武尊ノ西征。　全上　東征。

第九週　花の盛りに友を招く文。　全返事。

第拾週　松。　東京。

第拾壹週　訪はれし人に不在を謝する文。　冷水浴ヲ勸むる文。

第拾貳週　蜻蛉。　鷄。

第拾三週　傳言を依頼する文。　來診を請ふ文。

第拾四週　卵。　料理。

第拾五週　暑中見舞の文。　全返事。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　横濱。　富士山。

第拾七週　遭難に付き問ひ合はせの文。　遭難見舞の文。

第拾八週　山縣大貳。　源三位頼政。

第拾九週　出産を報ずる文。　出産を賀する文。

第貳拾週　和氣清麿。　法均尼。

第貳拾壹週　葡萄を贈る文。　仝謝禮。

第貳拾貳週　農夫。　柿。

第貳拾三週　雜誌の種類につき質疑を乞ふ文。　雜誌注文の文。

第貳拾四週　武田信玄。　川中島ノ戰。

第貳拾五週　注文品を催促する文。　雜誌交換を請ふる文。

第貳拾六週　水。　衣服。

第貳拾七週　雜誌ゟ文章の投書を勸むる文。

第貳拾八週　冬ノ景色。　女禮。

第貳拾九週　繪葉書見參の文。　仝返事。

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　紫式部ノ貞節。　仝上　著書。

第三拾壹週　歌留多遊びに招く文。　仝返事。

第三拾貳週　父母ノ恩。　近江八景。

第三拾三週　摸様書帖を借りに遣す文。　仝返事。

第三拾四週　育兒ノ心得。　種痘。

第三拾五週　摸様書帳を返せ文。　刺繍物を贈る文。

第三拾六週　風。　春雨。

第三拾七週　慈善音樂會傍聽に誘ふ文。　音樂會の摸様を知らする文。

第三拾八週　山ト川。　一學年間の重なる出來事を記す。

第一學期文例

稻生春子

春子わ、五歳にして、母を失い、よく継母に事えて、其心を、喜ばしめたり、稻生恒軒に、嫁して、後わ、貞實柔順の、聞え高く、常に節倹を守りて、家事を治め、舅姑に事えて、孝順に、慈愛と、親切とにより、子弟婢僕を、導きしかば、一家よく和合せりといふ、

誕生日に友を招く文

一筆申上候、明後拾日わ、私の誕生日なれば、友達二四人を招き、粗飯さしあげたき故、當日午前二時頃、御出下されたく候、御客様わ、何れも御心易き、人のみなれば、決して御遠慮にわ、及はず候、

第二學期 文例

養生

養生の道わ、飲食をこゝしみ、身體を清潔になすにあり、生れつき、達者なりとも、これそたのみ、養生の道を、守らざれば、遂に生命を、失うに至るべし、これも反し、天性弱き、人なりとも、常によく、養生の道を守りて、怠らざるときわ、身體健かになりて、命も長かるべし、されば、幼時より、養生の道を守るべきなり、

入院患者見舞の文

一筆申し上候、承れば、あなたにわ、先頃より、御入院とのこと、昨今御容體如何に候か、御宅にありその、御療治と異り、御病氣のためにわ、よろしからんと、御察し申候、つの品、粗末ながら、御見舞のしるしまでに、さしあげ候、申すまでもなく、御醫者樣の、言葉をまもり、御養生專一と、存じ候かもて、

第三學期 文例

父母の恩

父母わ、我々を生み、又我々を養ふ、其御恩の大なることわ、山よりも高く、海よりも深し、子たるものわ、暫くも、この高恩を、忘ることなく、其恩返しを、なさんことを、心掛けざるべからず、

郊外散歩の得物を贈る文

一筆申上候、今日の郊外散歩にわ、御同行を得ず、皆々殘念なりと申おり候、小供ばかりの、寄り合にも、似ず思の外面白きこと、澤山あり候、この初嵐わ、私の手折りしものゆえ、少々御分配いたし候、あまり面白かりしゆえ、今一度、郊外散歩、催したも、其節わ。是非に御同行いたしたくと、樂みおり候、かしこ

高等科三四學年女子國語科綴方

（奇數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　普通文日用文綴方に關する心得。
第貳週　入學を知らする文。　仝　返事。
第三週　養蠶。　女子の務め。
第四週　養蠶を勸むる文。　仝　返事。
第五週　春の一日。　散歩の樂。
第六週　郊外散歩誘引の文。　仝　返事。
第七週　日清交戰の結果。　日曜日ノ日誌。
第八週　散歩の摸樣を報する文。　遺失品の届書。
第九週　孟子の母。　妻のつとめ。

第拾週　誕生日に招く文。　誕生日に招かれたる後謝礼の文。
第拾壹週　晴雨計。　寒暖計。
第拾貳週　病氣の容体を問合する文。　仝　返事。
第拾三週　夏の樂。　海。
第拾四週　病氣全快を祝ふ文。　仝　返事。
第拾五週　暑中の心得。　運動の必要。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　教科書注文の文。　注文品を催促する文。
第拾七週　暑中休暇中の最樂しかりしことを記す。　八橋檢校。
第拾八週　讀書會の賛成を乞ふ文。　仝　返事。
第拾九週　住居。　松平樂翁公。
第貳拾週　雇人の本坪を保証人に通知する文。　身元保証を頼む文。
第貳拾壹週　ダンロップの家庭。　菊。

第貳拾貳週　天長節に奏樂を催す文。　仝返事。
第貳拾三週　訪問するもの〻心得。　文の書き方。
第貳拾四週　雜誌の交換を謀る文。　仝返事。
第貳拾五週　結髮。　清少納言。
第貳拾六週　醫師に贈りて安否を候ふ文。　父母の安否を問ひ兼て近狀を報ずる文。
第貳拾七週　赤十字社の起原。　音物。
第貳拾八週　歲暮の文。　年賀狀。
第貳拾九週　冬期休業中の心得。

第三學期　自第一週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　休業中最も感せし事を記す。　元旦の記。
第三拾壹週　受持敎師の病氣を尋ねる文。　病氣缺席中の友に贈る文。
第三拾貳週　春泊　局。　猪林虎五郎の善行。
第三拾三週　書中の不審を尋ねる文。　文章の訂正を乞ふ文。

第三拾四週　大日本帝國。　英吉利。
第三拾五週　卒業後學友に贈る文。　死去悔みの文。
第三拾六週　卒業式の祝詞。　仝答辭。
第三拾七週　同窓會設立相談の文。
第三拾八週　誓願書式其他印紙貼用規則の一班

高等科三四學年女子國語科綴方

（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　書留及爲替に關する心得。　綴方に關する注意。
第貳週　養蠶敎師を聘する文。　試驗及第を報ずる文。
第三週　吉野。　思孝。

第四週　羽織の裁方を問ふ文。　全返事。
第五週　松の操。　讀書の樂。
第六週　届書を依頼する文。　欠席届。拾物届其他届書式
第七週　日清交戰の源因。　清少納言。
第八週　醫師の來診を乞ふ文。　會合に招かれしを辭する文。
第九週　台湾。　加賀の千代。
第拾週　婦人會に入會を勸むる文。　全返事。
第拾壹週　櫻井驛の遺訓。　瓜生保の母。
第拾貳週　久しく逢はざる友に送る文。　東京に遊學せる兄の許より送る文。
第拾三週　日光陽明門。　家庭教育の必要。
第拾四週　牽牛花。　夏の樂。
第拾五週　暑中休業中なすべきものの一。二。

第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週　暑中休業中の最も面白味を感せしことを記す。
第拾七週　暑中見舞の文。　全返事。
第拾八週　住居の撰擇。　衛生。
第拾九週　電灯の發明。　電灯の効用。
第貳拾週　交詢社の事業。　全返事。
第貳拾壹週　電灯の効用。　活動寫眞の理。
第貳拾貳週　質牌を受けたる人を戒むる文。　全返事。
第貳拾三週　秋日散歩の記。　月見。
第貳拾四週　避暑誘引の文。　全返事。
第貳拾五週　書物に對し注意すべきことを記す。
第貳拾六週　貸物の返還を促す文。　借物の返還延期を乞ふ文。
第貳拾七週　楠公の御尼。　家風。
第貳拾八週　會合の模様を報する文。　全上の謝礼文。
第貳拾九週　家計簿記の必要。　音樂の心要。
第參拾週　冬期休業中の心得。　年末の計算を旅行中の父兄に知らする文。

第三學期　自第三拾一週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　初買の記。　冬期休業中の日記。

第三拾壹週　元旦の記。　流行。

第三拾貳週　臺灣の地勢氣候を問はれし返事。　衣服の新柄を問はれし返事。

第三拾三週　紀元節。　消化器ノ衛生法。

第三拾四週　借用の筆記帖を汚せしを謝する文。　戰死せし友の父を慰むる文。

第三拾五週　雷電ノ源因。　呼吸器ノ衛生法。

第三拾六週　望遠鏡。　望遠鏡の發明。

第三拾七週　高等女學校の入學手續を問合する文。　仝返事。

第三拾八週　卒業記書授與式の說詞及答辭。

第二學期文例

清少納言

養蠶を勸むる文

一筆申上候、近來養蠶の業は、都も鄙も、一般に多少の飼養をいたす、樣になり、誠に、喜はしく存じ候、貴家は、桑畑も、相應に、御所有の、事なれバ、少々なりとも、御飼養なされたく候、蠶卵紙は、少々の事なれバ、私方にて持合せもおれバ、進呈致すべく候、

養蠶の業は、女子として、一通り心得置くの、要あらんと存じ、失禮を顧みず、御勸め申候うしお、

清少納言は、清原元輔の娘にして、一條天皇の皇后に宮仕せり、或る年、雪の降りける日、皇后唐詩を、思し出でられ、少納言よ、香爐峰の雪は、如何にやと、仰せありければ、少納言は、直ちに立ちて、御前の御簾を、巻きあげたりといふ、清少納言は、かほどの、才女にて、ありながら、常に其學に誇と、其才を恃み、徃々先輩の學者を、說さふせ、自からの日記にも、おれを記せりとは、げに婦人に似氣あき、所業といふべきものならんか、

雇人の不埒を保証人に通知する文

一筆申上候、兩三月前、御周旋下され候、悪人誰義、當分は、余程實體に働き、末たのもしく見えしも、近來に至り、勤め向き不勉強となり、掛け先の金子を以て、無駄使を、なすなど、不埒の所行多く、當店の信用にも關し、且つは、他の奉公人の見せしめもならされば、折角の、御周旋なれども、本日雇を解き、歸宅いたさせ候、何れ委細の事は、御目にかゝりしとき、萬々申し述ぶべく候、右は御知らせのみ、かしこ、

第三學期 文 例

元旦の記

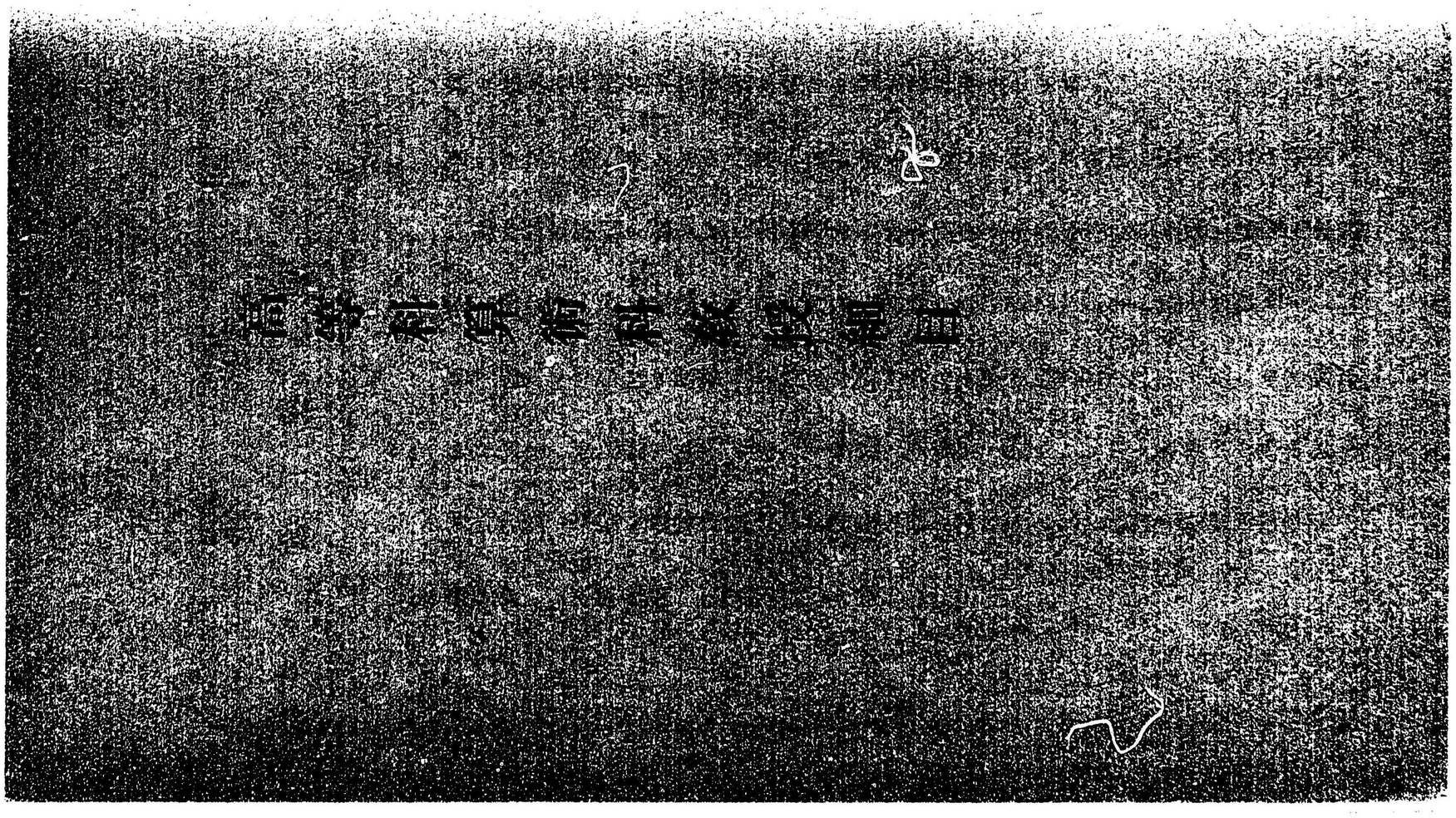
今日は年の始めなり、家々に掲げたる、日の丸の御旗は、門松の緑と映りあひ、幼き子女は、羽子を打ち、集へるさま、いとめでたし、

年ごとに、改まりて、妾も、また一歳を加へぬ、古人も、一日の事は、朝にあり、一年の事は、元旦にあり、いひたれば、今年は、去年に、立ちまさりて、いとよく、勤めなんこれを、元旦の詞となす、

東京に遊學せる兄の許に送る文

一筆申上げ候、兄上樣、ますく御勉學のこと、喜び入候、こゝ許御両親樣はじめ、一同安泰は消光いたし居れば、御心配なく、御勉強なされべく候、

近頃、東京の諸新聞には、間々書生の不行狀を記せるものあり、これがため、父上樣には、殊の外心配いたされ候、尤も兄上ふは、右樣の義、毛頭なき事とは、信じ居れど、萬が一、かゝる不始末にても、ありては、遺憾の次第と存じ候、必都會の、悪習に御感染なく、ひたすら、御勉學なされ、御両親の御安心なさるゝよう、願ひ奉り候、右は心付きのまゝ申し上げ候、失禮の罪、御宥し仰き奉り候、かしこ、



高等科第一、二學年算術科

小學算術高等科用卷二、及二、
第壹學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

學年	課目	進度週	
第一學年	筆算	第一課	第壹週
		内容	數ノ組立ニ關スル觀念ヲ一層明確ナラシメ且ツ萬以上ノ數ノ命位命數及記法、
	珠算	内容	既習加減法ノ復習及法二ノ乘除法、
第二學年	筆算	第一課	
		内容	分數ノ觀念ヲ與ヘ其呼ビ方記法及加減ノ簡單ナルモノ
	珠算	内容	法單位ノ乘除法復習及早加法、

高等科第一、二學年算術科

小學算術高等科用卷一、及二、
第壹學期　自第壹週至第拾五週
第貳學期　自第拾五週至第參拾週

學年	課目	週度	週
第一學年	筆算	内容	第壹週
	珠算	内容	
第二學年	筆算	内容	
	珠算	内容	

第壹週	
第一課	數ノ組立ニ關スル觀念ヲ一層明確ナラシメ且ツ萬以上ノ數ノ命位命數及記法、
	既習加減法ノ復習及法九ノ乘除法、
第一課	分數ノ觀念ヲ與ヘ其呼ビ方記法及加減乘除法單位ノ乘除法復習及早加法、

第貳週	第二課	寄算及引算
		法二ノ乘除算及練習
第參週	第三課	前課ノ續キ
		全前練習
	第二課	分數乘除ノ簡單ナル者ノ即チ制算ニ於テ分子ガ除數ノ倍數ナルモノ
	第三課	一、假分數、帶分數、常分數ノ定義、 二、分數二樣ノ意義、 三、假分數ヲ整數帶分數ニ化ネルコト、 四、通常整數ノ割算等ノ乘除法、ヲ假分數ノ形ニ化スルト其結果ヲ帶分數ニ化スルコト、
		全前、 十位數即チ10、20、30、等ノ乘除法、

第四週	第四課	十進諸等數、單位單名數及復名數、
		全前練習及早算練習、
	第四課	一、整數ヲ假分數ニ改ムルト、 二、帶分數ヲ假分數ニ改ムルト、
		法11、12、ノ乘法、
第五週	第五課	掛算
		法三ノ乘法
	第五課	整數ノ性質、 二、約數、倍數、素數、因數ノ定義、 二、二及五ノ倍數、 三、四ノ倍數、 四、因數分割法、
		全前除法、
		全前、 五、數字ノ和ガ三ノ倍數ナレバ其數ハ

第六週	第六課	前課ノ續キ
第七週	第七課	加減乘雜題 活弧ノ用法ニ慣レシム
		乘除練習
	第六課	最大公約數、 二、公約數、最大公約數ノ定義、 三、右ニ依リ難キ場合ニハ割算ノ法ニ依ルコト
第八週	第七課	約分、 分數ノ分母子ヲ同數ニテ割ルモ値ノ變ラザルコト、 約分ハ難約分數ノ定義ノ法ニ依ル
		乘除練習
	第八課	最小公倍數、 一、公倍數、最小公倍數ノ定義 二、數字ノ方法 三、分割ハ數ノ性質ヲ用ユ 6 | 2358 393
第九週	第九課	前課ノ續キ、
第十週	第十課	前課ノ續キ
第十一週		
第十二週		

第十週	第八課	前課ノ續キ
第十一週		
第十二週		
第拾週	第九課	割算、法一位ノ片ハ必ズ短除法ヲ用ユ 6 | 2358 393
等十課		前課ノ續キ
		乘除練習
	第九課	公前除法
		乘除練習
	第十課	
		約分、 分數ノ分母子ヲ同數ニテ割ルモ値ノ變ラザルコト、 約分ハ難約分數ノ定義ノ法ニ依ル
		乘除練習
	第十課	公前除法
		法二十一、二十二ノ乘法、

	第十課	乘除混合
	第十一課	雜題
第拾貳週	第十二課	前課ノ續キ
第拾參週	第十三課	前課ノ續キ
第拾四週	第十四課	前課ノ續キ
第拾五週	第十五課	前課ノ續キ
	第十六課	前課ノ續キ

學年 / 進度	課目	課	內容
第	筆算		
年	珠算		
第	筆算		
年	珠算		

第貳學期　自拾六週　至貳拾九週　拾四週間

第拾四週	第十四課	前課ノ續キ
第拾五週	第十五課	前課ノ續キ
	第十六課	前課ノ續キ

週	課	内容
第拾六週	第十七課	地積ノ名稱、命位、ヲ充分ニ理解セシメ且ツ高次ノ數ヲ低次ニ低次ノ數ヲ高次ニ改ムルコト
	第十八課	法六ノ乘法
第拾七週	第十八課	地積ノ複名數ニツキテノ寄セ算引算、
	第十九課	法六ノ除法
第拾八週	第十九課	全前掛算及割算、
	乘除練習	全前練習
第拾九週	第二十課	分數掛算、割算、
	第廿一課	一、常分數及帶分數ニ整數ヲ掛クルコト 二、分數ヲ整數ニテ割ルコト
第貳拾週	第廿二課	法廿五以下ノ乘除算ノ練習
	第廿三課	法二十六、二十七ノ乘法
第廿一課	第廿四課	前課ノ續キ、
	第廿五課	全前除法
第廿二課	第廿六課	分數掛算、
	第廿七課	一、分數ヲ掛クルトハ云フコトノ意義、
	第廿八課	二、整數ニ帶分數ヲ掛ケル時ハ其答ガ分數トナルモノ
	第廿九課	乘除練習
第廿三課	第三十課	三、全前其答ガ帶分數トナルモノ
	第三十一課	全前除法
第廿四課	第三十二課	第廿一課ノ續キ、
	第三十三課	一、常分數ニ常分數及帶分數ヲ掛クルコト
第廿五課	第三十四課	法二十九、三十一、ノ乘法
	第三十五課	全前練習

週	課	内容
第廿六週	第三十六課	分數掛算、割算、
	第三十七課	一、常分數及帶分數ニ整數ヲ掛クルコト
	第三十八課	二、分數ヲ整數ニテ割ルコト
第廿七週	第三十九課	法三十五以下ノ乘除算ノ練習
	第四十課	法三十六、三十七ノ乘法
第廿八週	第四十一課	前課ノ續キ
	第四十二課	全前除法、
第廿九週	第四十三課	第廿一課ノ續キ、
	第四十四課	一、常分數ニ常分數及帶分數ヲ掛クルコト
第三十週	第四十五課	法三十九、四十一、ノ乘法
	第四十六課	全前練習

第廿壹週	第廿二課	里法 里町間尺ノ複名數及 化法、 乘除練習
第廿貳週	第廿三課	前課ノ續キ、 寄算及引算 法八ノ乘法
第廿參週	第廿四課	前課ノ續キ、 驛算及歸算 全前除法
第廿四週	第廿五課	時間 歷日ノ計算法 乘除練習
第廿五週	第廿六課	前課ノ續キ 時分秒ノ複名數ニ付 テノ寄算引算 法九以下ノ乘法
第廿六週	第廿七課	前課ノ續キ 全前掛算及割算 全前除法、
第廿七週	第廿八課	米尺及丈 米尺法ノ尺度及目方 ヲ授ケ且ッ之レヲ在 來ノ尺度目方ニ換算 スルヿ 乘除練習
第廿八週	第廿九課	諸等數雜題 諸等數一般ノ練習、 法九以下ノ 乘除法練習、

第廿二週	第廿三課	前課ノ續キ、 分數掛算一般ノ練習、 全前除法、
第廿三週	第廿四課	分數割算 常分數ニテ他ノ數ヲ 割ルト云フ意義 乘除練習
第廿四週	第廿五課	前課ノ續キ、 整數ヲ常分數乘除例 ニ倣ヒ整數ヲ分數ト ノ乘除ニ應用ス 法四十以下 乘除練習
第廿五週	第廿六課	前課ノ續キ 分數ヲ帶分數ニ變ズル 例題 全前除法
第廿六週	第廿七課	前課ノ續キ 全前掛算及割算 全前除法、
第廿七週	第廿八課	米尺及丈 米尺法ノ尺度及目方 ヲ授ケ且ッ之レヲ在 來ノ尺度目方ニ換算 スルヿ 乘除練習
第廿八週	第廿九課	諸等數雜題 諸等數一般ノ練習、 法九以下ノ 乘除法練習、

學年	課目	進度	第廿九週	第參拾週
第一學年	算術	第三十課	第廿一課	第廿二課
		内容	前課ノ續キ練習	讀方及書方復習寄算及引算
	珠算	第廿九課	練習、	第廿二課
		内容	全前	法五十以下ノ練習
第二學年	算術	第廿二課		第廿四課
		内容	小數、	法七十以下ノ乘除算練習
	珠算	第廿二課		第廿四課
		内容	全前	法八十以下乘除算練習

第參學期　自第一參拾週　至第參拾八週　九週間

學年	課目	進度	第廿三週	第廿四週
第一學年	算術	第廿三課	前課ノ續キ寄算引算練習	第廿六課
		内容	全前	全前
	珠算	第廿三課	第廿四課	第廿五課
		内容	問題練習、	法九十以下乘除算練習、
第二學年	算術	第廿四課	第廿五課	第廿六課
		内容	反比例、正比例反比例ノ區別、反比例ノ問題ヲ解ク三種ノ方法	前課ノ續キ問題ノ練習、
	珠算	第廿四課	第廿五課	第廿六課
		内容	法九十以下乘除算練習、	法三位ノ乘除算練習、

第廿壹週	第廿貳週	第廿參週	第廿四週
第廿三課	第廿四課	第廿五課	第廿六課
前課ノ續キ寄算引算練習	小數ニ整數ヲ掛クルモノ	前課ノ續キ	珠算法實共ニ整數ニシテ商ガ帶小數又ハ小數ナルモノ
全前	全前	全前	全前
第廿三課	第廿四課	第廿五課	第廿六課
前課ノ續キ問題練習、	法八十以下乘除算練習	法九十以下乘除算練習、	法三位ノ乘除算練習、
第廿四課	第廿五課	第廿六課	第廿七課
反比例、正比例反比例ノ區別、反比例ノ問題ヲ解ク三種ノ方法	前課ノ續キ	前課ノ續キ問題ノ練習、	比例問題正比反比ノ別ヲ問題ニヲキ正確ニ知ラシム
第廿五課	第廿六課	第廿七課	第廿八課
法九十以下乘除算練習、	法三位ノ乘除算練習、	前課ノ續キ	前課ノ續キ

第卅五週	第卅七課 前課ノ續キ
第卅六週	第卅八課 雜題
第卅七週	第卅九課 全前
第卅八週	第四十課 全前

高等科第二、四學年算術科

第卅五週	第卅七課 法カ整數ニシテ實カ小數又ハ帶小數ナルモノ
第卅六週	第卅八課 雜題
第卅七週	第卅九課 全前
第卅八週	第四十課 全前
第卅九週	第三十一課 全前練習
第四十週	第三十二課 小數掛算割算ノ應用トシテ歩合算初歩
第四十一週	第三十三課 全前
第四十二週	第三十四課 全前練習

小學算術高等科用 卷三、及四、

第壹學期 自第壹週 至第拾五週

學年	課目	進度 週	內容
第三學年	筆算	第壹週 第一課	繁分數ノ意義及化法
		第二課	ヲ授ケ單比例問題ノ稍複雜ナルモノヲ解ク豫備トス
	珠算	內容	法百以下ノ乘除練習
第四學年	筆算	第一課	混合法
	珠算	內容	混合スベキ數ノ價ト基量トヲ與ヘテ平價ヲ求ムルコト
		內容	加減乘除雜題練習

第二週 第二課	全前ノ應用
	比ヲ作ル處ノ數ガ分數或ハ帶分數ナドナルモノノ解キ方
第三週 第三課	全前
	按分算(一)
	最モ簡單ナルモノ即チ全体ト一部分トノ比ガ直ニ知ラルルモノ
第四週 第四課	全前
	全前(二)
	各比例數ガ不名數ニテ表現セラレタルモノ
	法三位百十五、百十三、ノ乘除法
第二課	全前
第三課	全前、
	混合法(一)
	混合スベキモノノ價ト平價トヲ與ヘテ混合スベキ量ノ割合ヲ求ムルコト
	全前法三位ノ乘除ヲ加フ
第四課	前課ノ續キ
	全前

第五課 第五課	全前(三)
	比例部ガ分數又ハ帶分數ニテ與ヘラレタルモノ
第六週 第六課	全前
	全前(四)
	各部分ガ複比例ヲナセルモノノ解キ方
第七週 第七課	前課ノ續キ、
	全前
第八週 第八課	全前(五)
	各部分ノ比ガ二ツト三ツ別々ニ與ヘラレタルモノ
	法三位二百七十五、三百八十五等ノ乘除法
第五課	第五課
	前課ノ續キ、
	全前
第六課	第六課
	混合法(二)
	混合スベキモノ三種ノ場合
	全前
第七課	第七課
	前課ノ續キ、
	全前
第八課	第八課
	比例雜題
	之レマデニ授ケタル比例全体ノ複習、
	全前

第九週	第九課	全前（六） 前課ヨリ稍込入リタルモノ
第拾週	課十	複比例（一） 正比ノミヨリナレルモノ
第拾壹週	第十二課	複比例（二） 反比ノミヨリナレルモノ
第拾二週	第十一課	前二課練習
第拾三週	第十四課	複比例（三） 正比例ト反比例トヨリナレル複比例ノ問
		全前練習
	第十三課	法五百以下ノ乘除法
	第十二課	前課ノ續キ
	第十一課	全前
	第九課	前課ノ續キ
第十四課		手形割引 約束手形及爲替ニ關スル事項、銀行業務
		全前
		全前
		全前、實ニ小數ヲ含ム乘除ヲ加フ

學年 第三學年　課目 算術　進度 自拾六週至貳拾九週　第二學期間

週	課	內容
第拾四週	第十六課	連鎖法
		全前
第拾五週		複比例及連鎖法ノ練習
		全前
	第十五課	前課ノ續キ
		全前
	第十六課	全前、
		全前

學年 第四學年　課目 珠算　進度 自拾六週至貳拾九週　第二學期間

週	課	內容
第拾四週	第十六課	連鎖法
		全前
第拾五週		複比例及連鎖法ノ練習
		全前
	第十五課	前課ノ續キ
		全前
	第十六課	全前、
		全前

週	課	題
第拾六週	第十七課	歩合算、 前學年ニ於ケル歩合算ノ複習及歩合高ヲ求ムル計算 法五百以下ノ乘除練習
第拾七週	第十八課	全前練習 法七百以下ノ乘除練習
第拾八週	第十九課	全前 子數ト歩合トヲ與ヘ母數ヲ求ム 全前
第拾九週	第二十課	全前 パーセントノ意義及歩合ノ難キ計算 法八百以下ノ乘除練習
第廿週	第廿一課	加減乘除雜題 法ニ小數ヲ含ム乘除ヲモ加フ 複利法其一、 複利法ト單利法トノ區別、利子ノ計算但シ期限ニ端數ナキモノ
	第十八課	前課ノ續キ 全前
	第十九課	複利法其二、 期限ニ端數アルモノ 全前
	第二十課	前課ノ續キ 全前

週	課	題
第廿貳週	第廿一課	全前 母數ト歩合トヲ與ヘ總高ヲ求メ、總高ト歩合トヲ與ヘテ母數ヲ求ムル計算 複利法其三、 複利表ノ用法ヲ教ヘ之レニヨリテ長期ニ渉レル利子ノ計算ヲナラシム 右ニヨリ簡單ナル利息ノ計算ヲ加フ
第廿壹週	第廿二課	前課ノ續キ 法九百以下ノ乘除練習 全前 複利法其四、 複利表ノ用法ヲ教ヘ之レニヨリテ長期ニ渉レル利子ノ計算ヲナラシム 全前
第廿貳週	第廿三課	全前 母數ト歩合トヲ與ヘ殘高ヲ求ム、歩合ト 全前 前課ノ續キ 全前期限ニ端數アルモノ期限ガ表ニ擧ケ
第廿三週	第廿四課	全前

		殘高トナ與ヘ母數ヲ求ムルノ計算
第廿三週	第廿四課	前課ノ續キ、
		口錢損益、
第廿四週	第廿五課	賣買ノ手數料
		商業上損益ノ計算
第廿五週	第廿六課	前課ノ續キ
		租稅
第廿六週	第廿七課	租稅ニ關スル緊要ナル知識
第廿七週	第廿八課	前課ノ續キ
第廿八週	第廿九課	公債證書株券ニ關スル事項練習
第廿九週	第卅一課	保險事業ニ關スル大要ト其必要

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

學年	課目	進度	
第三學年	筆算	第廿七課	全前
	珠算	第廿八課	貯金　郵便貯金　銀行貯金ノ大要
	筆算	第廿九課	前課ノ續キ、
	珠算	第三十課	年金積立ノ大要
第四學年	筆算	第卅一課	練習
	珠算		年賦償還法

第三拾週	第卅二課	利息算其一 利息ニ關スル一般ノ事項 利息及元利合計ノ計算法、
第卅壹週	第卅三課	前課ノ續キ
	全前練習	全
第卅貳週	第卅四課	利息算其二 年月ノ計算法
	全前	加減乘除一般ノ練習
第卅三週	第卅五課	利息算其三 利率ノ計算法
	全前	全
	第卅二課	整數及小數雜題 整數及小數四則ノ運算練習ト同時ニ地理科等ノ補習トナルベキ事項ヲ授クルコトヲ要ス
	第卅三課	前課ノ續キ
	全前	前學期ノ續キ練習
	第卅四課	分數雜題
	全前	全
	第卅五課	內外貨幣 本邦及諸外國ノ貨幣ノ量ヲ與ヘテ換算法
	全前	全

第卅四週	第卅六課	前課ノ續キ
	全前	全
第卅五週	第卅七課	利息算其四、
	全前	全
第卅六週	第卅八課	前課ノ續キ
	全前	全
第卅七週	第卅九課	利息算雜題 全前單利全体ノ練習
	全前	全
第卅八週	第四十課	前課ノ續キ
	全前	全
	第卅六課	平面
	全前	全
	第卅七課	前課ノ續キ
	全前	全
	第卅八課	前課ノ續キ
	全前	全
	第卅九課	立体
	全前	全
	第四十課	前課ノ續キ
	全前	全

ヲ授ク

高等科第一學年歷史科

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　豫備

第一時　兒童ヲシテ來歷談ヲナサシム

第二時　學校沿革ノ大要ヲ話ス

第貳週

第一時　甲府、甲府城、古城、酒折ノ宮等緣起ノ概要ヲ話ス

第三週

第一時　以上ノ數項ヲ綜括シテ時ノ觀念ヲ得セシメ兼テ過去ノ久シキコトヲ知ラシムル

第二時　以上ノ數項ヲ概括シテ歷史トイフ意義ヲ悟ラシメ國ニモ亦歷史アルコトヲ敎フ

高等科第一學年歷史科

第一學期　自第壹週　至第拾五週

第壹週　緒論

第一時　兒童ヲシテ來歷談ヲナサシム

第二時　學校沿革ノ大要ヲ話ス

第貳週

第一時　甲府、甲府城、古城、酒折ノ宮等ノ由緒起ノ概要ヲ話ス

第三週

第一時　以上ノ數項ヲ統括シテ時ノ觀念ヲ得セシメ兼テ過去ノ久シキコトヲ知ラシム

第二時　以上ノ數項ヲ概括シテ歷史トイフ意義ヲ悟ラシメ國ニモ亦歷史アルコトヲ教フ

國　日本歷史（日本歷史大要　甲種）　國讀尋八、國史ノ大要上中下參照

第四週
第一時　大日本帝國　自開卷至一枚裏二行目
地理卷一、總論參照

第五週
第一時　大日本帝國（承前）　自一枚裏三行目至仝五行目
第二時　天照大御神　自一枚裏末行至二枚裏六行目

第六週
第一時　天照大御神（承前）　自二枚裏七行目至三枚表七行目

第七週
第一時　神武天皇　地理卷一、三重縣參照
第二時　神武天皇（承前）　自三枚表末行至仝裏末行
自四枚表初行至仝裏二行目

第八週
第一時　日本武尊　自四枚裏三行目至五枚表二行目
地理卷二奈良縣
國讀尋七第一課女子讀本卷三、大坂參照

第九週
第一時　日本武尊（承前）　自五枚表三行目至仝裏二行目
第二時　日本武尊（承前）　自五枚裏三行目至六枚表八行目
地理卷一三重縣
國讀尋六第二課參照

第拾週
第一時　日本武尊（承前）　自六枚表末行至六枚裏七行目
附酒折宮ノ由來

第拾壹週
第二時　三韓征伐（神功皇后）　地理卷一山梨縣（甲府市近傍）愛知縣參照
自六枚裏末行至七枚裏四行目

第三時　三韓征伐（承前）

自七枚裏五行目至八枚表末行

第拾貳週

第一時　漢學ノ渡來

自八枚表末行至九枚表初行目

第拾三週

第一時　漢學ノ渡來（承前）

自八枚表末行至全裏初行目

第二時　仁德天皇

自九枚裏二行目至十枚裏初行目

第拾四週

第一時　仁德天皇（承前）

自十枚裏二行目至十一枚表二行目

地理卷二大坂府

國讀本卷二仁德天皇參照

第二時

第拾五週

本學期間分ノ復習

日本歷史

第八回　第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週

第一時　佛敎渡來（承前）

自十一枚表四行目至十二枚裏二行目

第拾七週

第一時　佛敎渡來（承前）

國讀本卷二欽明天皇參照

第二時　聖德太子

自十二枚裏三行目至全末行

第拾八週

第一時　聖德太子

自十三枚表初行至全四行目

第二時　藤原鎌足

歷史卷二蘇我氏ノ滅亡（自十八頁末行至十九頁末行目）

第拾九週

第一時　藤原鎌足（承前）

自十三枚裏四行目至十四枚表末行目

第二時　天智天皇

地理卷二奈良縣

修身訓高一第廿六、七八課、參照

第貳拾週

第一時　天智天皇（承前）

自十四枚表初行至十五枚表二行目

第二時　天智天皇

自十五枚表三行目至全裏四行目

第貳拾壹週

第一時　和氣清麻呂（承前）

自十五枚裏四行目至十六枚表八行目

第二時　和銅遷都（承前）

自十六枚裏四行目至十七枚表末行目

修身高男女卷二、第一、二、

地理卷二大分縣、修身訓尋三第一ヨリ第四マデ參照

第貳拾貳週

第一時　桓武天皇

自十七枚裏初行至仝七行目

地理卷二京都府參照

第貳拾三週

第一時　桓武讓皇（承前）

自十七枚裏七行目至十八枚表八行目

桓武天皇（承前）

自十八枚表末行至十九枚表三行目

第二時　地理卷二和歌山縣參照

第貳拾四週

第二時　嵯峨進襲

自十九枚表四行目至仝裏末行目

第貳拾五週

第一時　嵯峨天皇（承前）

國讀尋七第四課參照

菅原道真（承前）

自十九枚表末行至仝裏三行目

第貳拾六週

第一時　平將門（承前）

自二十枚表三行目至二十一枚表四行目

第二時　平將門

自二十一枚表五行目至二十一枚裏四行目

地理卷二福岡縣

修身訓尋三、第五、六、七參照

第貳拾七週

第一時　藤原道長

自二十一枚裏五行目至二十二枚表八行目

第二時　藤原道長（承前）

自二十二枚表九行目至二十三枚表三行目

第貳拾八週

第一時　紫式部

自二十三枚表四行目至二十四枚表初行

第二時　紫式部（承前）

自二十四枚表初行仝裏四行目

第二十九週

第一時　修身訓高二第四、五及七女子修身訓卷二、第四、五、六、十一、十二、

第二時　三復　隋習

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週
第一時　源義家

第三拾壹週
第一時　源義家（承前）

第三拾貳週
第一時　源義家（承前）

第三拾三週
第二時　後三條天皇

第二時　後三條天皇（承前）

附新羅三郎義光及ビ其子孫

地理西八代郡參照

地理卷一、岩手縣圖讀圖二第十一課參照

自二十四枚裏五行目至二十五枚末行

自二十四枚表初行目至仝裏三行目

自二十五枚裏初行目至二十五枚裏末行

自二十六枚表初行目至仝裏三行目

自二十六枚裏四行目至二十七枚表四行目

自二十七枚裏八行目至仝裏七行目

第三拾四週

第一時　白河法皇

第三十五週　仝上（承前）

第三十六週　以下第三拾八週マデ本學年間ノ總復習

高等科第二學年歷史科

第一學期　自第一週　至第拾五週

第壹週　仝上（承前）

第一時　平清盛

第二時　仝上（承前）

第貳週

第一時　源三位賴政

第三週　仝上（承前）

自二十七枚裏八行目至二十八枚裏

自二十七枚裏八行目至二十八枚裏

自開卷至一枚裏末行

自二枚裏初行至仝裏五行目

自二枚裏七行目至三枚裏八行目

第一時　仝上（承前）　自三枚表八行目至仝裏六行目

第二時　源頼朝　高女讀本上一、宇治川參照　自三枚裏八行目至四枚裏七行目

第四週

第一時　仝上（承前）　自四枚表八行目至五枚裏末行

第五週

第一時　仝上（承前）　自五枚裏初行目至六枚表七行目

地理卷二兵庫縣一參照

香川縣山口縣一參照

第二時　鎌倉幕府　自六枚表九行目至七枚裏五行目

第六週

第二時　仝上（承前）　自七枚表六行目至仝裏五行目

第七週

第一時　仝上（承前）　自七枚裏六行目至八枚裏二行目

地理卷一神奈川縣二參照

第二時　北條時政

第二時　承久ノ亂

第八週

第一時　仝上（承前）　自八枚裏二行目至九枚表五行目

第九週

第一時　北條時頼

自九枚表六行目至仝裏二行目

第二時　元ノ寇　自九枚裏三行目至十枚裏四行目

第拾週

第一時　仝上（承前）　自十枚裏五行目至十一枚裏七行目

自十一枚裏七行目至十二枚裏三行目

修身訓尋三第八、九參照

第拾壹週

第一時　後醍醐天皇　自十二枚裏四行目至十三枚表末行

第二時　仝上（承前）　自十三枚表初行至十四枚表末行目

地理卷二奈良縣島取縣島根縣參照

第拾貳週

第二時　足利尊氏
第拾三週
第一時　仝上（承前）
第三時　本學期分復習
第拾四、五週　本學期復習
第一時　仝上（承前）
第二時　自第拾六週至第拾九週　拾四週間
第拾六週
第一時　勤王の諸將（一）
第二時　仝上（承前）
第拾七週
第一時　仝上（承前）

自十四枚表四行目至仝裏三行目
自十四枚裏四行目至十五枚表六行目
自十五枚表七行目至十六枚表五行目
自十六枚表六行目至仝裏五行目
修身書四第一ヨリ、第五マデ
地理卷二、兵庫縣國繪第弐第壱課參照

第二時　仝上（承前）
第拾八週
第一時　勤王の諸將（二）
第二時　仝上（承前）
第拾九週
第一時　仝上（承前）
第二時　足利義滿

自十六枚表五行目至十七枚表五行目
地理卷二、大阪府一千二百年祭ノ條、外國人ノ部、四枚目表ヨリ裏ノ終リ迄
國繪尋七十二課修身訓尋四、五六七參照
自十七枚表六行目至十八枚表五行目
地理卷一福井縣參照
自十八枚表六行目至十九枚表五行目
地理卷二、岡山縣參照
自十九枚表六行目至仝裏八行目

第貳拾壹週
第一時　應仁の亂
第二時　仝上（承前）

自二十一枚表六行目至仝裏九行目

第貳拾貳週　全上（承前）
第一時　川中島合戰
自二十六枚表初行至全裏六行目
第貳拾三週
第一時　附武田信玄（承前）
系統、生立、小壯時代、海ノ口城ノ戰、
地理甲府近傍參照
第二時　川中島合戰（承前）
自二十五枚裏七行目至二十五枚表五行目
地理卷二、長野縣參照
第貳拾四週　全上（承前）
第一時　附武田信玄
三方原戰、國政、等
自二十六枚表一行目至二十七枚裏二行目
第二時　全上（承前）
織田信長（一）
自二十七枚表六行目至全裏七行目
第貳拾五週　全上（承前）
第一時　織田信長（二）
地理卷一、愛知縣參照
自二十八枚裏四行目至二十九枚表六行目
第二時　全上（承前）
地理卷二、大阪府參照
自二十三枚裏八行目至二十四枚裏初行目
第貳拾六週　全上（承前）
第一時　織田信長（三）
自二十四枚裏二行目至全裏六行目

第貳拾七週
第一時　附武田勝頼　新傳參照
地理北巨摩、東山梨參照
自二十六枚裏四行目至二十七枚表六行目
第貳拾八、九週　本學期分復習
自二十八枚裏四行目至全裏四行目
第三學期　自第三拾週　至第三拾八週
第一時　豐臣秀吉
自二十四枚裏末行至二十六枚表六行目
女子修身訓卷二淺野氏ノ苦樂參照
地理卷二、愛知縣大阪府

第三學年 附淺野長政

甲府城

地理甲府參照總說大要項

自二十六枚表四行目至仝裏七行目

自二十四枚裏末行至二十六枚裏六行目

地理卷二佐賀縣參照

第三拾貳週

第一時 朝鮮征伐

第二時

第三拾三週

第一時 仝上（承前）

自二十六枚裏七行目至二十七枚表八行目

第二時 仝上（承前）

自二十七枚表末行至二十八枚表三行目

第三拾四週

第一時 仝上（承前）

自二十八枚表四行目至仝裏四行目

第二時 關ケ原合戰

第三拾五週

第一時 仝上（承前）

自二十八枚裏末行至二十九枚表六行目

第二時 仝上（承前）

地理參照、岐阜縣參照

第二時 豐臣氏ノ滅亡

第三拾六週

第一時 仝上（承前）

自三十九枚裏三行目至三十枚表五行目

第二時

第三拾七八週

本學期分ノ復習

自三十枚表六行目至三十一枚表二行目

高等科第三學年歷史科

第一學期 自第壹週 至第拾五週 拾五週間

第壹週

第一時 德川家康

卷三自開卷至一枚裏三行目

第二時

自一枚裏三行目至二枚裏三行目

第三時 仝上（承前）

地理卷一栃木縣及愛知縣參照

第貳週

第一時　徳川家光
第三週
第一時　外國交通
第三時　仝上（承前）
第四週
第一時　島原ノ乱
第五週
第一時　仝上（承前）
第二時　仝上（承前）
第六週
第一時　徳川慶圀
第七週
第二時　仝上（承前）

自二枚裏四行目至三枚裏三行目
自三枚裏四行目至四枚裏七行目
自四枚表八行目至五枚表三行目
自五枚表四行目至仝裏四行目
自五枚裏四行目至六枚表七行目
自六枚表七行目至七枚表三行目
地理巻二、熊本縣參照
自七枚表四行目至仝裏四行目
自七枚裏五行目至八枚裏五行目

第二時　徳川家宣
注意柳澤吉保
女子修身訓巻二第十七課以下廿四課マデ參照
修身訓高二第五課ヨリ第十課マデ
第八週
第一時　徳川吉宗
修身訓高一第九課參照
第九週
第一時　松平定信
第二時　仝上（承前）
修身訓高三第十二、三、四、五、六、課
女子修身訓巻三第七課ヨリ第十五課マデ參照
第拾週
第一時　著名ナル學者
女子修身訓巻一、第十五課ヨリ第廿一課マデ參照
仝巻二第七課ヨリ第九課マデ
第拾壹週

自八枚裏三行目至九枚表五行目
自九枚表六行目至十枚表二行目
自十枚表三行目至仝裏四行目
自十枚裏五行目至十一枚表六行目
自十一枚表七行目至十二枚裏初行

第二時　仝上（承前）　自十二枚裏二行目至十三枚表二行目

第三時　仝上（承前）　自十三枚表三行目至仝裏八行目

第拾貳週

第一時　米艦ノ來航　自十三枚裏九行目至十四枚裏二行目

地理卷二、靜岡縣
修身訓高三、第十七、八、九、十課參照

第拾三週

第一時　仝上（承前）　自十四枚裏三行目至十五枚表四行目

第二時　本學期復習

第拾四五週

本學期復習

第二學期始　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週

第一時　五國トノ訂盟　自十五枚表五行目至仝裏六行目

第拾七週

第一時　仝上（承前）　自十五枚裏七行目至十六枚表八行目

第二時　仝上（承前）　自十六枚表八行目至仝裏七行目

第拾八週

第一時　長州征伐　自十六枚裏八行目至十七枚表九行目

第拾九週

第一時　仝上（承前）　自十七枚表九行目至仝裏七行目

第二時　仝上（承前）　自十七枚裏八行目至十八枚裏三行目

國讀女中二、瀧子
修身訓高四、第十六、七八課參照

第二十週

第一時　大政奉還　自十八枚裏四行目至十九枚裏初行目

第貳拾壹週

第一時　明治維新　自十九枚裏二行目至二十枚表七行目

第二時　仝　上（承前）

國讀高四、第十九課參照

第貳拾貳週

第一時　仝　上（承前）　自二十枚裏七行目至二十一枚表六行目

第貳拾三週

第一時　五條ノ御誓文　自二十一枚表七行目至二十二枚表三行目

第二時　東京奠都、廢藩置縣　自二十二枚表四行目至仝裏二行目

第貳拾四週

第一時　仝　上（承前）　自二十二枚裏二行目至二十三枚表三行目

第貳拾五週

第一時　臺灣征伐　自二十三枚表四行目至仝裏四行目

地理卷二臺灣參照

第二時　地理卷二臺灣參照

樺太ト千島トノ交換　自二十三枚裏五行目至二十四枚表五行目

地理卷二北海道參照

第貳拾六週

第一時　征韓論　自二十四枚表六行目至二十四枚裏末行

第貳拾七週

第一時　西南ノ役　自二十五枚表初行目至仝裏末行

地理卷二鹿兒島縣參照

第二時　朝鮮事件　自二十六枚初行至同仝裏三行目

第貳拾八週

第一時　仝　上（承前）　自二十六枚裏四行目至二十七枚表末行

第貳拾九週

本學期間ノ復習

第三學期（自第三拾週至第三拾八週）九週間

第三拾壹週　第一時　國會開設ノ請願官制ノ改革　自二十七枚裏初行目至二十八枚表初行目
　　第二時　仝　上（承前）　自二十八枚表二行目至仝裏三行目
第三拾貳週　第一時　憲法發布、議會開設　自二十八枚裏四行目至二十九枚裏三行目
　　第二時　明治廿七八年ノ戰役　自二十九枚裏四行目至三十枚表六行目
　　國讀女中一、第八、九課參照（以下倣之）
　　修身訓卷三第廿八、九課參照
第三拾三週　第一時　仝　上（承前）　自三十枚表七行目至三十枚裏九行目
　　國讀高五第廿三課參照
　　第二時　仝　上（承前）　自三十枚裏末行至三十一枚裏三行目
第三拾四週　第一時　仝　上（承前）　自三拾一枚裏四行目至三十二枚裏五行目
第三拾五週

第一時　仝　上（承前）　自三十二枚表五行目至仝裏末行
　　第二時　條約改正　自三十二枚裏末行至三十三枚裏七行目
第三拾六週　第一時　仝　上（承前）　自三十三枚裏八行目至三十四枚表末行
第三拾七週　第一時　明治ノ文明　自三十四枚裏末行至三十六枚表末尾
　　第二時　本學期間ノ復習
第三拾八週　本學期間ノ復習

高等科第四學年歷史科

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週
第一時　建國ノ概畧　自開卷至二枚表四行目
歷史卷一天照大御神、神武天皇參照
第二時　國內ノ經畧地方制度ノ整頓　自二枚表五行目至三枚裏初行目
歷史卷一、日本武尊參照
第貳週
第一時　仝上（承前）上古風俗ノ一斑　自三枚表二行目至四枚表五行目
第三週
第一時　上古風俗ノ一斑（承前）　自四枚表五行目至五枚裏二行目
第二時　韓土文物ノ傳來　自五枚裏五行目至六表裏四行目
歷史卷一、三韓征伐及、漢學ノ渡來參照
第四週
第一時　佛敎ノ興隆　自六枚裏五行目至七枚表末行
歷史卷一佛敎ノ渡來
聖德太子參照

第五週
第一時　大化ノ新政　自八枚表八行目至九枚裏五行目
第二時　蝦夷ノ征服、三韓ノ離叛　歷史卷一、藤原鎌足及天智天皇參照　自九枚裏六行目至十枚裏六行目
第六週
第一時　律令ノ撰定　自十枚裏七行目至十一枚裏末行
第七週
第一時　奈良奠都　自十二枚表初行至仝裏四行目
第二時　文學ノ道步　自十二枚裏五行目至十三枚表末行
第八週
第一時　佛敎ノ隆盛美術工藝ノ發達、風俗　自十三枚裏初行至十四枚表五行目
第九週
第一時　仝上（承前）　自十四枚表六行目至十四枚裏八行目

第二時　以上復習

第拾週

第一時　桓武天皇ノ二大事業、佛法流布　自十五枚表初行至仝裏六行目
　　歷史卷一、桓武天皇參照

第拾壹週

第一時　漢學ノ隆盛　自十五枚裏七行目至十六枚裏二行目
第二時　藤原氏ノ專橫、武人興起　自十六枚裏二行目至十七枚裏末行
　　歷史卷一、菅原道眞、平將門、藤原道長參照

第拾貳週

第一時　文藝ノ隆盛　自十八枚表初行至十九枚表初行

第拾三週

第一時　文藝ノ隆盛（承前）　自十九枚表初行至仝裏六行目
　　歷史卷一、紫式部修身訓女卷二紫式部參照
　　國語下一第六課

第二時　院宣政治僧徒强暴　自二十枚表初行至二十一枚表三行目

第拾四週

第一時　源平二氏　自二十一枚表四行目至二十二枚表二行目
　　歷史卷一、源藤家參照

第拾五週

第一時　源平二氏（承前）　自二十二枚表三行目至二十三枚表六行目
　　歷史卷二、平清盛源三位賴政參照

第二時　本學期復習

第二學期　自第拾六週至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週

第一時　幕府ノ制度源氏ノ滅亡　自二十三枚表八行目至二十四枚裏二行目
　　歷史卷二源賴朝、鎌倉幕府參照

第拾七週

第一時　北條氏ノ執權及ビ其滅亡　自二十四枚裏三行目至二十五枚表九行目

第二時　仝　上（承前）　自二十五枚表十行目至二十六枚表七行目

第拾八週

第一時　鎌倉時代ノ風俗、武士ノ氣風、佛敎及ビ文學、　自二十六枚表初行至二十七枚裏初行目
附日蓮上人　歴史卷二北條時政、承久ノ亂、北條時賴元ノ寇後醍醐天皇參照

第拾九週

第一時　仝　上（承前）　自二十七枚表二行目至二十八枚裏初行目
第二時　建武ノ中興　自二十八枚裏二行目至二十九枚裏二行目　歴史卷二後醍醐天皇、足利尊氏勤王諸將參照

第貳拾週

第一時　足利尊氏ノ叛、南北朝ノ分立　自二十九枚裏三行目至三十枚裏七行目　歴史卷二、足利尊氏、勤王諸將一、二、參照　參照國讀女下二、楠木正行ノ母

第貳拾壹週

第一時　南朝ノ衰頽、南北両朝ノ合一　自三十枚裏八行目至三十二枚裏七行目　歴史卷二足利義滿參照

第貳拾貳週

第一時　幕府ノ權勢　自三十一枚裏九行目至三十二枚裏九行目

第二時　室町幕府ノ組織　自三十二枚表初行至三十四枚表八行目　歴史卷二應仁ノ亂參照

第貳拾三週

第一時　皇室ノ衰微　自三十四枚表九行目至三十五枚裏初行目

第二時　美術及文學ノ一班　自三十五枚裏二行目至三十六枚表末行目

第貳拾四週

第一時　群雄割據、織田信長ノ經略　自三十六枚裏二行目至三十七枚裏六行目　歴史、卷二、川中島ノ戰、織田信長參照

第貳拾五週

第一時　豊臣秀吉ノ事業、徳川氏ノ興起　自三十七枚裏七行目至三十八枚裏末行

第二時　多交　歷史、卷二、豊臣秀吉、朝鮮征伐、關ヶ原戰參照　自三十九枚表二行目至仝裏六行目

第貳拾六、七、八、九、週　以下四時間本學期分復習

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週

第一時　家康ノ政略　歷史卷三、德川家康參照　自三十九枚裏八行目至四十枚裏九行目

第三拾壹週

第一時　幕府制度ノ整頓　歷史卷三、德川家康、家光、參照　自四十一枚表初行至仝裏五行目

第二時　幕府ノ盛衰　歷史卷三、德川家康參照　自四十一枚裏五行目至四十二枚裏末行

第三拾二週

第一時　外交(一)　歷史卷二、德川光圀ヨリ著名ナル學者マデ參照　自四十二枚表初行至四十三枚裏九行目

第二時　文學工藝　歷史卷二、外國交通　修身訓卷三第廿五、六、七、課參照　自四十三枚表初行至四十五枚裏末行

第三拾三週

第一時　外交(二)(三)承前　歷史、卷二、島原ノ亂、米艘渡來、五國訂盟參照　自四十五枚裏末行至四十六枚表二行目

第二時　文學工藝　歷史卷二、著名ナル學者參照　自四十六枚表二行目至四十七枚裏末行

第三拾四週

第一時　元祿時代ノ風俗　歷史卷二、德川光圀ヨリ著名ナル學者マデ參照　自四十七枚表初行至四十八枚裏三行目

第三拾五週

第一時　尊王論　歷史卷二、米艘ノ來航ヨリ長州征伐マデ參照　自四十八枚表初行至四十九枚裏三行目

附山縣大貳　修身訓卷四、第九、十、課

第二時　明治ノ官制　自四十九枚裏四行目至五十一枚表三行目

第三拾六週　歴史巻三、國會開設ノ請願及ヒ官制ノ改革參照

第一時　外交　自五十一枚表四行目至五十二枚裏二行目

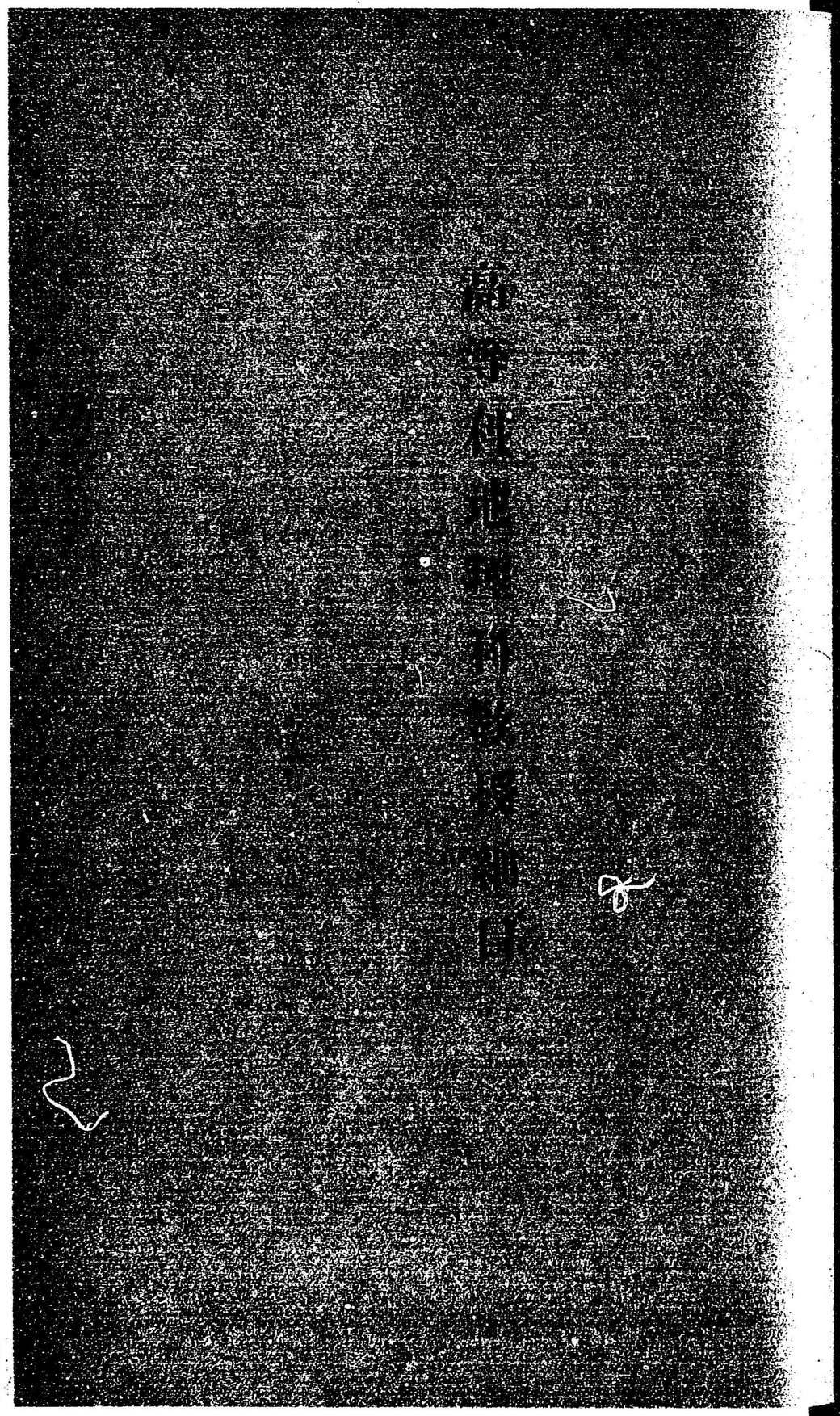
第三拾七週　歴史巻三、五國トノ訂盟及條約改正參照

第一時　立憲帝政　自五十二枚裏二行目至五十四枚表五行目

第二時　世界ニ於ケル我カ國ノ位置　歴史巻三、國會ノ請願ヨリ國會開設マデ國讀女下ニ憲法大意國讀高八、第廿一、二、三課、參照　自五十四枚表七行目至五十五枚表四行目

第三拾八週　歴史巻三、明治廿七八年ノ役參照

本學期分復習



第二時　明治ノ官制

自四十九枚裏四行目至五十一枚表三行目

第三拾六週

歷史卷三、國會開設ノ請願及ヒ官制ノ改革參照

第一時　外交

自五十一枚表四行目至五十二枚裏二行目

第三拾七週

歷史卷三、五國トノ訂盟及條約改正參照

第一時　立憲帝政

自五十二枚裏二行目至五十四枚表五行目

第二時　世界ニ於ケル我ガ國ノ位置

歷史卷三、國會ノ請願ヨリ國會開設マデ
國讀女下二憲法大意國讀高八、第廿一、二、三課、參照

自五十四枚表七行目至五十五枚表四行目

第三拾八週

本學期分復習

歷史卷三、明治廿七八年ノ役參照

高等科一二學年地理科

（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週　地理基本觀念ノ養成

第一時　方位（教室、校舍又ハ學校ヲモトヽシテ）

一、主位　東、西、南、北、

二、間位　東北、東南、西北、西南、

二學年ニハ磁石ニヨリテ正確ニ方位ヲ知ラシム

第貳週　（全上）

第一時　距離（全上）

一、本邦里法（里、町、間、尺）

二、西洋里法ニシテ本邦ニ慣用セラルヽモノ（哩、浬、メートル）

高等地理科

地理科　教授細目

一、本科目ハ高等科第一學年ノ初メヨリ第二學年ノ終リニ至ル二箇年間ニ授クヘキ地理ノ教授事項ヲ示シタルモノニシテ其ノ配當ニ關シテハ別ニ之ヲ定メス

一、本科目ハ尋常科ニ於ケル地理ノ教授ニ基キ其ノ程度ヲ高メ且ツ之ヲ擴充シテ地理ノ大要ヲ會得セシメ兼ネテ日本地理ノ概要ヲ知ラシメ以テ國民タルノ資質ヲ養フヲ以テ要旨トス

一、本科目ノ教授ニ當リテハ實地ニ就キ又ハ地圖ヲ利用シテ觀察セシメ且ツ兒童ヲシテ自ラ地圖ヲ描カシムルヲ要ス

一、本科目ノ教授ニ當リテハ常ニ兒童ノ經驗ト關聯セシメ且ツ之ヲ日常生活ニ應用スルノ途ヲ講スヘシ

一、本科目ノ教授ニ當リテハ北斗ヲ基準トシテ方位ヲ知ラシメ次ニ之ヲ應用シテ方位以下ノ諸題目ヲ會得セシムヘシ

一、本科目ノ教授ニ當リテハ兒童ヲシテ自ラ地圖ヲ描カシムルヲ要ス

高等科一二學年地理科

（偶數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　為五週間

第壹週　地理基本觀念ノ養成

第一時　方位（教室、校舍又ハ學校ヲモト、シテ）

一、主位　東、西、南、北、

二、間位　東北、東南、西北、西南、

二學年ニハ磁石ニヨリテ正確ニ方位ヲ知ラシム

第貳週　（全上）

第一時　距離　（全上）

一、本邦里法（里、町、間、尺）

二、西洋里法ニシテ本邦ニ慣用セラルヽモノ（哩、浬、メートル）

第二時　面積（坪上）

一、普通地積（町、段、畝、歩（坪）

二、大陸國土等ノ地積（方里、方哩等）

二學年ニ八里法ノ通法命法及ビ換算法練習

實地觀測ヲナサシム

第三週

第一時　尺度（普通布帛、材木、繩等ヨリ導キテ）

一、曲尺　尺、寸、分、厘、毛

二、鯨尺

二學年ニ八教室校舍又ハ運動場等ノ實地面積ヲ檢セシム

二學年ニ八換算法練習

第四週

第一時　一、實物ト圖書トノ比較

校舍ト全寫眞書

富士山ト其繪書

校地ト校地圖

甲府市街ト市街地圖

二、書ト圖トノ區別

校舍書ト校舍圖

二學年ニ八教室校舍運動場等適宜ノ平面圖又ハ寫生書ヲナサシム

風景書ト地圖　戰爭書ト戰地圖

第二時　地圖

地圖上ノ方位距離面積等ヨリ日常兒童ガ目撃スル富士山、愛宕山、甲府用水渠、荒川、濁川、甲府市街、市中ノ寺社、城址、公園地、名所、舊蹟等ヲ地圖ニツキテ知ラシメ彙テヲ其符號ヲ熟知セシム

第五週　日本地理（小學理地）

第一時　總論（一）

自開卷至一枚裏六行目

第六週

第一時　總論（二）

國讀尋五錦九課參照

自一枚裏七行目至二枚表七行目

第一週　第一時　緒論(二)

第二時　緒論(三)

第七週　第一時　本州(一)

第二時　本州(二)

第八週　第一時　本州(二)

第二時　本州(三)

第九週　第一時　東京府(一)

國讀尋五第一課參照

自二枚表八行目至三枚裏七行目

自三枚裏八行目至四枚裏二行目

自四枚裏三行目至五枚表四行目

自五枚表五行目至仝裏六行目

自五枚裏八行目至六枚表末行

女子讀本上卷三東京及太田道灌參照

國讀尋第十五三課

第二時　東京府(二)(承前)

第十週　第一時　東京府(二)(承前)(三)

自七枚裏初行目至八枚裏六行目

第二時　埼玉縣

第十一週　第一時　埼玉縣(承前)

自八枚表七行目至八枚裏四行目

第十一週　第一時　千葉縣(二)

第二時　千葉縣(二)(承前)

自九枚表八行目至十枚裏六行目

第十二週　第一時　東山道(東京府ノ一部ヲ含ム)

自十枚表初行目至仝裏六行目

第二時　茨城縣

自十枚裏八行目至十一枚裏五行目

第十三週　第一時　栃木縣

自十一枚裏六行目至十二枚裏五行目

第二時　栃木縣(承前)

第十四週　第一時　群馬縣

自十一枚裏七行目至十三枚表六行目

第二時　群馬縣(承前)

第十五週　第一時　長野縣(一)

自十三枚表七行目至十四枚表初行目

第二時　長野縣(二)

國讀高一第六課參照

第十六週　第一時　本學期分ノ指圖

第二學期　自第十六週　第一時　至第二十九週　第四時間

第拾六週
第一時　神奈川縣（一）
第二時　仝　上（二）

自十四枚表二行目至仝裏初行
自十四枚裏初行至十五枚裏四行目
歷史卷二、源賴朝、國讀高一第十四、五課參照
國讀高二第十二課

第拾七週
第一時　富士山

自十五枚裏四行目至十六枚裏二行目
國讀尋六第一課
國讀高三、第十三、四參照

第拾八週
第一時　山梨縣
第二時　甲府市其近傍

自十六枚裏四行目至十七枚裏七行目

第十九週
第一時　東山梨、東八代兩郡

第貳拾週

第二時　南、北都留郡

第貳拾壹週
第一時　中巨摩郡（北山筋中郡筋）北巨摩郡
第二時　中巨摩郡（西郡筋）南巨摩郡、西八代郡

自十七枚裏八行目至十八枚裏五行目
自十八枚裏七行目至二十枚裏二行目
國讀高一第十九課參照

第貳拾貳週
第一時　靜岡縣（一）
第二時　靜岡縣（二）

自二十枚表四行目至仝裏四行目

第貳拾三週
第一時　愛知縣（一）

自二十枚裏五行目至二十一枚裏末行

第貳拾四週
第一時　愛知縣（二）
第二時　三重縣（一）

自二十二枚表初行目至二十三枚表六行目

第貳拾五週

第一時　岐阜縣　自二十三枚表七行目至二十四枚表二行目

第貳拾六週

第一時　滋賀縣（二）　自二十四枚表三行目至仝裏二行目

第二時　仝　上（承前）　自二十四枚裏三行目至二十五枚表六行目

第貳拾七週

第一時　本學期分ノ復習

第貳拾八週

第一、二時　本州中區ノ指圖（除北陸道）

第貳拾九週

第一時　東京府ヨリ本學期終リマデノ復習

第三拾週　自第三拾八週　第三拾週

第二時　福井縣　自二十五枚表七行目至二十六枚表二行目

第三拾壹週

第一時　石川縣　自二十六枚表四行目至仝裏末行

第二時　富山縣　自二十七枚表初行至二十八枚裏末行

第三拾二週

第一時　新潟縣（一）　自二十八枚表初行至仝裏三行目

第二時　仝　上（二）　自二十八枚裏四行目至二十九枚裏末行

第三拾三週

第一時　福井縣以下ノ復習　自三十枚表初行至仝裏末行

第三拾四週

第一時　福島縣（一二）　自三十一枚初行目三十一枚裏五行目

第二時　宮城縣

第三拾五週

第一時　岩手縣　自三十一枚裏六行目至三拾二枚裏四行目

第三拾六週
第一時　青森縣、秋田縣
第二時　山形縣　歷史卷一、源義家參照
第三拾七週　自三拾二枚裏五行目至三十四枚表四行目
第一時　本學期分復習
第三拾八週
第一、二時　描圖練習

高等科一二學年地理科（奇數年）

第三學期　自第壹週
第一學期　至第拾五週　拾五週間

第一、二、三、四週

地理ノ基本的觀念ノ養成　偶數年ニ同ジ
日本地理

第五週
復習第一時　京都府(一)
第二時　京都府(一)

第六週
第一時　京都府(二)　歷史卷一桓武天皇參照
第二時　奈良縣　自四枚裏初行至五枚裏四行目

第七週
第一時　大阪府(一)　歷史卷一、仁德天皇、豐臣秀吉
女子讀本上卷三、大阪、國讀尋五、第十九課參照

第八週
一時　大阪府(二)

第八 第一時 大阪府(二)
第二時 和歌山縣
第九週 大阪府(二)
第十 第一時 兵庫縣(一)
第十一週 兵庫縣(二)
第十二 第一時 鳥取縣
第十三週 京都府(一)
第十四 第一時 島根縣
第十五週 日本總說

自四枚裏五行目至六枚表四行目
自六枚表五行目至七枚表初行目
歷史卷一桓武天皇僧空海參照
自七枚表二行目至八枚表六行目
歷史卷二勤王諸將一、及ビ同源頼朝參照
自八枚表七行目至仝裏八行目
理科卷二參照
自八枚裏八行目至九枚裏初行
自九枚裏二行目至十枚裏初行
歷史卷二勤王諸將及ビ承久ノ乱參照

第十六 第一時 岡山縣
第二時 廣島縣
第十七週 岡山縣
第十八 第一時 山口縣
第十九週 山口縣
第二十 第一時 復習
第二時 仝上
第二十一週 描圖練習

自十枚裏三行目至十一枚表六行目
歷史卷二勤王諸將參照
自十一枚表八行目至十二枚表八行目
國讀尋七第三課參照
自十二枚裏初行至十三枚表四行目
歷史卷二源頼朝參照

第拾六週
第一時　四國總論、德島縣
第二時　香川縣
自十三枚表六行目至十四枚表五行目
自十四枚表六行目至仝裏末行
歷史卷二、源賴朝參照

第拾七週
第一時　愛媛縣
自十五枚表初行至十五枚裏五行目

第拾八週
第一時　高知縣
自十五枚裏六行目至十六枚裏八行目
第二週　九州總論
自十六枚裏初行至十七枚表末行

第拾九週
第一時　福岡縣
自十七枚裏初行至十八枚裏初行
歷史卷一菅原道眞、卷二、元寇參照
國讀尋七第二課

第貳拾週
第一時　佐賀縣及ヒ以上ノ練習
自十八枚裏初行至仝末行

第二時　長崎縣
歷史卷二、朝鮮征伐參照
自二十枚表七行目至二十一枚表五行目
歷史卷三、豐臣役、島原ノ亂參照
國讀尋七、第三課

第貳拾壹週
第一時　熊本縣
自二十一枚表六行目至二十二枚表初行
國讀尋七、第二課參照
第二時　鹿兒島縣
自二十二枚表三行目至二十三枚表末行
歷史卷二、和氣淸麻呂參照

第貳拾貳週
第一時　宮崎縣、大分縣
自二十三枚裏初行目至二十四枚表末行
國讀尋七、第廿二課前半部參照
第二時　沖繩縣
國讀尋七、第廿二課後半部參照

第貳拾參週
第一時　
第二時　
國讀尋七、第二課參照
自十九枚表初行至二十枚表六行目
歷史卷二、朝鮮征伐參照

第貳拾四週
　第一時　臺灣總論
　第二時　仝上(承前)及台北縣、宜蘭廳　自二十四枚裏初行至二十五枚裏末行
　第三時　仝上(承前)及台北縣、宜蘭廳　自二十五枚裏初行至二十七枚表三行目
　　國讀高二第八課參照

第貳拾五週
　第一時　臺中縣、台南縣　自二十七枚表四行目至二十八枚裏初行目
　第貳時　臺東廳、澎湖廳　自二十八枚裏三行目至二十九枚裏二行目
　第三時　本學期間ノ復習　國讀尋七、第廿五課後半部參照

第廿七、八、九週
　四時間本學期分ノ復習

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第廿三拾週
　第一時　北海道(一)　自二十九枚裏四行目至三十枚裏二行目
　第二時　仝上(二)　自三十枚裏五行目至三十二枚表二行目

第三拾壹週
　第一時　仝上(三)　自三十二枚表三行目至仝裏三行目
　　國讀高二第廿一課參照

第三拾貳週
　第一時　仝上(承前)　自三十三枚裏四行目至三十四枚裏二行目
　第二時　仝上(四)　自三十三枚裏三行目至三十五枚表四行目
第三拾三、四週
　三時間北海道復習及ビ插圖　自三十五枚表六行目至三十六枚裏七行目
第三拾五週
　第一時　地球ノ表面
第三拾六週

第二時　地球ノ形狀　自三十六枚裏九行目至三十七枚裏七行目

國讀高四、第十四課參照

第三時　地球ノ運動(一)　自三十七枚裏八行目至三十八枚裏五行目

第三拾七週　三第二時　仝　上　(二)

第三拾八週　第三時　仝　上　(三)　自三十八枚裏六行目至三十九枚裏三行目

第一時　經緯度(一)　自三十九枚裏四行目至四十枚裏末尾行目

第二時　結論ノ復習

高等科三四學年地理科　(偶數年)

第一學期　自第壹週　至第拾五週

第一壹週　自第一時　至第拾五時間

發端

第貳週　第一時　亞細亞洲總論(一)　自一枚裏五行目至三枚表初行

第二時　仝　上　(二)　自三枚表二行目至四枚表九行目

第三時　仝　上　(三)

第參週　第一時　朝鮮帝國(一)　自四枚裏初行目至五枚裏三行目

第四週　第一時　仝　上　(二)　自五枚裏四行目至七枚表三行目

歷史卷二朝鮮征伐參照

國讀女中一朝鮮地理參照

第二時　支那帝國(一)　自七枚表四行目至八枚表初行目

第五週　第一時　支那帝國(二)　自八枚表二行目至九枚表四行目

第二時　支那帝國(三)(承前)仝上三　自九枚表五行目至九枚表末行

第六週

第三時　全上三（本前）（本前）全上三　自十枚寒初行至十三枚表初行

第八週

第七週　第一時　國讀女中、一、支那ノ地理及全二世界周遊其四參照

第二時　以上ノ復習及ビ支那朝鮮ノ指圖

第三時

第四週　第一時　印度支那　自十一枚表五行目至十二枚表六行目

第二時　全上（二）　補習歷史外交一國讀高四第九課參照

第三時　印度　自十三枚表七行目至十三枚表五行目

第五週　國讀高七第十九課參照

國讀高八第十四課參照

第六週　第二時　亞細亞露西亞　自十二枚表六行目至十四枚表三行目

第三時　第一時　イラン地方、亞細亞土耳其、アラビヤ　自十四枚表四行目至十五枚表七行目

第二時	以上ノ復習及描圖	
第拾壹週		
第一時	太洋洲總論	自十五枚表八行目至十六枚裏初行
第拾貳週		
第一時	東印度群島	自十六枚裏二行目至十七枚裏五行目
第二時	濠太利大陸	自十七枚裏六行目至十八枚裏七行目
第拾三週		
第一時	太平洋諸島	自十八枚裏八行目至十九枚裏六行目
第拾四週		
第一時	歐巴洲總論(一)	自十九枚裏七行目至二十枚裏三行目
第二時	仝 上 (二)	自二十枚裏四行目至二十一枚裏四行目
第拾五週		
第一時	第拾二週以下ノ復習及描圖	

第二學期　自第拾六週至第貳拾九週　拾四週間

第拾六週
　第一時　バルカン半島諸國　自二十一枚裏五行目至二十二枚裏五行目
　第二時　露西亞帝國　自二十二枚裏六行目至二十三枚裏五行目
　國讀高八、第五課參照

第拾七週
　第一時　瑞典諾威王國及丁抹王國　自二十三枚裏六行目至二十四枚裏七行目

第拾八週
　第一時　和蘭王國白耳義王國　自二十四枚裏七行目至二十五枚裏七行目
　第二時　獨逸帝國　自二十五枚裏八行目至二十七枚表六行目
　國讀高八、第五課參照

第拾九週
　第一時　墺太利洪牙利帝國以太利王國前半部　自二十七枚表七行目至二十八枚裏七行目

第貳拾週

第一時　以太利王國（後半部）瑞西共和國　自二十八枚裏八行目至二十九枚裏七行目
國讀高八、第五課參照

第二時　佛蘭西共和國　自二十九枚裏九行目至三十一枚表七行目
國讀女中二世界一週其三後半部參照
國讀高七、第十三課

第貳拾壹週

第一時　西班牙王國、葡萄牙王國　自三十一枚表七行目至三十二枚表七行目
國讀高七、第十三課參照

第貳拾貳週

第一時　英吉利王國　自三十二枚表八行目至三十四枚表初行目
國讀女中二世界一週其三前半部參照
國讀高七、第十二課

第二時　歐羅巴洲復習及描圖

第貳拾三週

第一時　亞弗利加洲總論　自三十四枚表二行目至三十五枚表六行目

第貳拾四週

第一時　ナイル、東部、南部地方　自三十五枚表七行目至三十八枚裏二行目
國讀高八、第五課參照

第二時　西部、サハラ、バルバリー地方及ビ復習　自三十六枚裏三行目至三十七枚裏初行目

第貳拾五週

第一時　亞弗利加洲描圖

第貳拾六週

第一時　北亞米利加洲總論(一)　自三十七枚裏二行目至三十八枚裏三行目

第二時　仝上(二)英領カナダ　自三十八枚裏四行目至四十枚表八行目

第貳拾七週

第一時　合衆國　自四十枚表末行至四十一枚表初行目
國讀女中一、第十三、四課參照
國讀高七、第二課

第貳拾八週

第一時　合衆國（承前）　自四十一枚表二行目至四十二枚表四行目

第二時　墨西哥共和國、西印度、中央亞米利加　自四十二枚表四行目至四十三枚表七行目

第貳拾九週

第一時　北亞米利加洲復習及描圖

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週

第一時　南亞米利加洲總論北部諸國　自四十三枚表八行目至四十四枚裏七行目

第二時　東部南部西部諸國　自四十四枚裏八行目至四十六枚表七行目

第三拾壹週

第一時　仝上（承前）　自四十六枚表八行目至四十六枚裏八行目

第三拾貳週

第二時　南亞米利加洲復習及描圖練習

第三時　結論（一）　自四十六枚裏九行目至四十八枚表初行

國讀高七第一課參照

第三拾三週

第一時　仝二（承前）　自四十八枚表二行目至四十九枚表末行

仝

第三拾四週

第一時　仝二（承前）　自四十九枚裏初行至仝末行

地理卷四氣候二參照

第二時　結論三　自五十枚表初至仝裏末尾

第三十五週

以下本學年ノ復習及ビ描圖練習

高等科三四學年地理科

（奇數年）

第一學期　自第壹週　至第拾五週　拾五週間

第壹週

第一時　位置面積　自開卷至一枚裏末行

第貳週

第一時　地勢一　自二枚表初行至仝裏六行目

第二時　地勢二（承前）　自二枚裏七行目至三枚裏四行目

第八週

地理卷三亞細亞洲總論參照

第三週

第一時　地勢二（承前）　自三枚裏五行目至四枚表七行目

第四週

第一時　地勢三　平地、湖沼　自四枚表八行目至五枚表八行目

第二時　地勢四　河流　自五枚裏初行至六枚表七行目

第五週

第五週　第一時　海洋一　海岸　自六枚表九行目至七枚裏五行目
第二時　地理卷三、歐巴洲及亞弗利加各總論參照
第六週　第一時　海洋二　洋流　自七枚裏七行目至八枚表九行目
第二時　仝上（承前）　自八枚表末行至仝裏末行
第七週　第一時　氣候一　溫度　自九枚表初行至仝裏七行目
第二時　天產一植物二動物　理科卷二風、雨　自十一枚表五行目至十二枚裏四行目
第八週　第一時　氣候二、風、三、雨雪　自九枚裏末行至十一枚表三行目
第二時　生業及產物一農業二畜牧　自十二枚裏四行目至十四枚表八行目
第九週　第一時　生業及產物一農業二畜牧　地理卷三、歐巴洲及亞弗利加各總論參照
第二時　仝上　三養蠶四水產　自十四枚裏初行至十五枚表末行
第十週　第一時　仝上　三養蠶四水產　自十四枚裏初行至十五枚表末行
第二時　仝上　五林業六鑛業　自十五枚裏初行至十六枚裏五行目
第十一週　第一時　仝上　七工業　自十六枚裏八行目至十七枚裏末行
第十二週　第一時　仝上　七工業　自十七枚表初行至仝裏五行目
第二時　仝上　八商業　自十八枚表初行至仝裏五行目
第三時　仝上（承前）　自十八枚裏八行目至二十枚裏初行目
第十三、四、五週　地理卷三、英吉利參照
第六週　四時間本學期分復習
第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間
第拾六週　第一時　仝上　三養蠶四水產　自十四枚裏初行至十五枚表末行
第二時　仝上　五林業六鑛業　自十五枚裏初行至十六枚裏五行目
第拾壹週　第一時　仝上　七工業　自十六枚裏八行目至十七枚裏末行
第拾貳週　第一時　仝上　八商業　自十八枚表初行至仝裏五行目
第二時　仝上（承前）　自十八枚裏八行目至二十枚裏初行目
第十三、四、五週　地理卷三、英吉利參照
第六週　四時間本學期分復習
第二學期　自第拾六週　至第貳拾九週　拾四週間
第拾六週

MISSING

第一時　仝上（承前）　自三十四枚裏初行至三十五枚裏八行目

第二時　兵制一　國讀女卷三水運ノ便參照

第貳拾七週　自三十五枚裏末行至三十七枚表初行

第一時　仝上　二陸軍、二海軍　自三十七枚表三行目至三十八枚表初行目

國讀高八第十一課國讀高七第十三課參照

第貳拾八、九週　二時間本學期分復習

第三學期　自第三拾週　至第三拾八週　九週間

第三拾週　仝上

第一時　教育及宗教一教育　自三十八枚表二行目至三十九枚表二行目

第二時　仝上二（承前）　自三十九枚表四行目至三十九枚裏末行

第三拾壹週　仝上　二時間本學期分復習

第一時　宗教　自四十枚表初行至四十一枚表五行目

第三拾二週　第一時　一、土地、二財政　自四十一枚表六行目至四十二枚表八行目

第二時　仝上（承前）　自四十三枚表三行目至仝裏四行目

第三拾三週　第一時　風俗一　自四十四枚裏五行目至四十四枚表九行目

第三拾四週　第一時　風俗（承前）　自四十四枚表末行至仝裏末行

第二時　仝上二　自四十五枚表初行至四十六枚表二行目

第三拾五週　第一時　外交　自四十六枚表三行目至四十七枚表初行目

補歷第十二編第十三編ノ各外交歷史卷三、第五十、五十一、六十三、六十四、參照

第三拾六週

第一時　國体及沿革一　　自四十七枚表二行目至四十八枚表二行目

第二時　仝上　二　　自四十八枚表二行目至仝裏末尾

第三拾七、八週　二時間本學期分復習